

“自分史”に記載された正の感情と場所から得られるまちづくり要素に関する研究

EC20021 河合 大地

1. 研究の背景と目的

まちづくりをしていくにはその街の歴史、特徴とどのような場所、環境を人々が好み大切にされているのかを把握する必要がある。そのまちの価値を把握せず街を変えていくことになると街の魅力、価値を奪うことになりその街を守っていくことが出来なくなる。近年の新型コロナウイルス拡大や日々の生きていく中で人々はストレスを抱えている。そういったストレスを緩和するために街中には心安らぐ空間、サードプレイスとなる場所が大切だと考える。この二つに必要な人が好む場所や心の癒しとなる場所をさぐるには個人のこころの中にある記憶や思い出をさぐる事が大切だと考える。

本研究では自分史を活用することで従来のアンケート調査とヒアリング調査よりも人の場所に対する思いを詳しく探ることが出来るかと考える。自分史から正の感情を抱いた場所とその場所でのエピソードとその場所に愛着を持った経緯、場所から何を得られるのかを調査・分析することを目的とする。加えて人が好む場所や心の癒しとなる場所の特徴を見つけることとそういった場所にどんな人が来るのかを調べる。

2. 研究の枠組み

2-1 研究対象とする自分史

春日井市の文化フォーラム春日井ある「日本自分史センター」に保管されている蔵書を収集する。春日井市民文化財団によって設立され全国から自分史を寄贈しており、現在は約 8000 タイトルの自分史が貯蔵されている。本研究では表 1 に示したように 2018 年～2022 年の春日井市の自分史団体のものを収集した。一つの地域に絞ることで街の傾向や特徴が分かると考えられるからである。

2-2 研究手順と方法

自分史をスキャンし最終的に Word にする。自分

史の分析は 3 つ方法で行う。1 つ目は chatGPT を用いて場所と活動の抽出を行う。活動の定義は後述に記載する。これは自分史の記述内容の特徴を探るためである。2 つ目は共起ネットワーク図での正の感情と場所の関連性の分析を行う。テキストマイニングソフトの Kh coder を用いて行う。正の感情で関連語検索を行い、抽出した単語同士の関係性を可視化できる共起ネットワーク図にする。それだけは正の何に対しての感情なのかがわからない。さらに深く探るために文章を読み取る作業も行った。3 つ目は GIS での分析を行う。自分史から抽出した春日井市内の感情を抱いた場所を地図上に表示し春日井市内の地域の特徴の分析を行う。

表 1 収集した自分史

2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
わだち82号	修了記念作品	けやき61号	けやき67号	まいしゃ44号
けやき49号	わだち83号	けやき62号	けやき68号	けやき73号
道すがら18号	けやき55号	けやき63号	けやき71号	けやき75号
まいしゃ36号	けやき56号	けやき64号	けやき72号	けやき76号
けやき54号	けやき57号	けやき65号	まいしゃ42号	けやき77号
まいしゃ37号	けやき59号	けやき66号	まいしゃ43号	
けやき50号	けやき60号	道すがら20号		
けやき51号	まいしゃ38号	道すがら21号		
道すがら19号	まいしゃ39号	音の記憶		
けやき52号		ベン遊17号		
けやき53号		まいしゃ40号		
波45号		まいしゃ41号		
わだち80号		波46号		

2-3 本研究における正の感情の定義

正の感情とは明るく前向きな気持ちのことをさす。本研究では後藤(2023)論文で自分史から抽出された上位 10 個の正の感情を使用する。「楽しい・感動・落ち着く・幸せ・満足・懐かしい・嬉しい・笑い・頑張る・感心」でテキストマイニングを行い 10 個の正の感情に関する場所を集計する。

3. 調査結果

3-1 場所と活動関連性

表 2 は自分史内から抽出した場所とその場での活動の関連性を示したものである。

表2 場所と活動のクロス集計図

行動	性別	場所数 (=n)	抽出場所																	分類不可	
			地名	自然物				人工物													不明
				山	水辺	農地	その他	医療施設	交通施設	教育施設	公共空地	文化施設	宿泊施設	住宅施設	宗教施設	福祉施設	生活施設	業務施設	その他		
1次活動	男性	213	46.5%	0.9%	1.9%	0.9%	1.4%	0.9%	1.9%	0.9%	0.5%	0.5%	5.6%	20.7%	0.5%	0.5%	8.9%	1.4%	5.6%	0.5%	
	女性	216	35.2%	2.3%	0.9%	1.9%	4.2%	1.9%	1.9%	0.5%	0.0%	0.0%	3.7%	23.6%	2.8%	0.5%	16.2%	0.0%	2.8%	0.0%	
	不明・その他	7	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	
2次活動	男性	363	17.9%	0.0%	0.3%	1.7%	0.0%	3.0%	1.4%	17.6%	0.8%	0.0%	0.0%	7.7%	2.8%	0.8%	16.3%	25.9%	3.9%	0.0%	
	女性	227	14.5%	0.4%	0.9%	3.5%	0.4%	3.5%	1.3%	28.2%	0.9%	0.0%	0.9%	9.7%	0.0%	3.1%	21.6%	9.7%	1.3%	0.0%	
	不明・その他	16	12.5%	0.0%	0.0%	31.3%	0.0%	6.3%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	0.0%	
3次活動	男性	1928	20.1%	6.7%	5.0%	2.4%	4.1%	7.8%	8.8%	4.1%	2.1%	2.4%	3.1%	8.2%	6.2%	0.8%	5.1%	2.5%	10.0%	0.5%	
	女性	1503	17.1%	3.9%	7.1%	2.5%	3.7%	11.2%	5.6%	5.1%	3.2%	2.9%	2.6%	10.0%	6.3%	0.7%	6.4%	1.3%	9.4%	1.0%	
	不明・その他	79	22.8%	13.9%	3.8%	3.8%	5.1%	6.3%	8.9%	2.5%	1.3%	3.8%	3.8%	12.7%	2.5%	1.3%	1.3%	0.0%	6.3%	0.0%	
分類不可	男性	84	29.8%	1.2%	4.8%	2.4%	3.6%	2.4%	8.3%	6.0%	2.4%	1.2%	1.2%	11.9%	7.1%	0.0%	4.8%	6.0%	6.0%	1.2%	
	女性	62	21.0%	1.6%	8.1%	3.2%	4.8%	11.3%	1.6%	8.1%	0.0%	1.6%	1.6%	11.3%	6.5%	0.0%	6.5%	1.6%	9.7%	1.6%	
	不明・その他	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

1次活動・2次活動・3次活動の定義は図1に示す。

1次活動は男女共に住宅施設、生活施設が多く想起されている。2次活動では男女共に教育施設が多い。男性は業務施設の記憶も多く想起されている。3次活動では1次、2次ではなかった自然物が出ています。人口物では医療施設、住宅施設、宗教施設が出てきている。教育施設が多いことから学生時代の記憶は年齢を重ねても強く記憶に残ると考える。転職、転勤、入院など人生の変わり目や命に関する出来事も記憶の中に強く残ることが考える。

3-2 正の感情と場所の関連性

活動の種類	総務省統計局より
1次活動：睡眠・食事・身の回りの用事	
2次活動：通学通勤・家事・買い物など	
3次活動：休養・趣味娯楽・受診・社会的活動など	

図1 活動の定義

「楽しい・楽しい・感動・落ち着く・幸せ・満足・懐かしい・嬉しい・笑い・頑張る・感心」ので関連語検索を行い場所に関する語を抽出した。

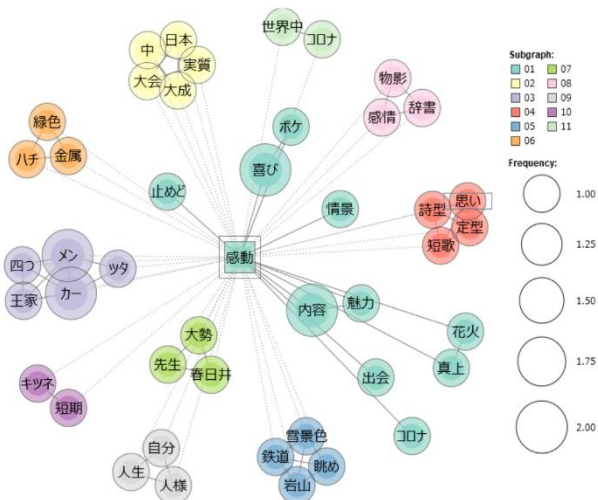


図2 共起ネットワーク

図2で抽出した語は感動と関連している文章に含まれている語である。同じエピソード内に出てき

た語は色でグループ化され線で結ばれている。

10個正の感情で共起ネットワーク分析を行い「楽しい・落ち着く・感動・懐かしい・嬉しい・幸せ」の6個で場所に関する語を抽出することができた。抽出した出来た場所の種類は表3に示す。

表3 正の感情と

感情	場所	出現回数	感情	場所	出現回数
楽しい	職場	2	幸せ	海	1
	溪流	1		庭	6
	公園	17		道	1
	レストラン	1		龍泉寺	2
	春日井	6		海辺	1
	博多	1		街道	1
落ち着く	堤防	5	懐かしい	小学校	2
感動	雪景色	5		街並み	1
				苔小牧	1
			嬉しい	山	3

楽しい・懐かしいの感情を感じる場所が多く公園で正の感情を抱く人が多い。春日井・堤防・雪景色・庭・山などでも複数出ており自然関係の場が多い。

表4 正の感情を抱いた場所の経験値

感情	場所	経験値の種類							
		景観の 美しさ	自然の 豊かさ	安らぎ 癒し	誇らしさ	懐かしさ	なじみ	かつての 賑わい	共同体の つながり
楽しい	職場							1	1
	溪流							1	
	学校				1			1	
	保育園					1			
	公園	2	5	1	1	1	4	1	1
	レストラン	1							
落ち着く	春日井		3				1		2
	博多	1							
感動	堤防	3	2						
幸せ	雪景色	5							
	海	1							
懐かしい	庭	2	4						
	道						1		
	龍泉寺						2		
	海辺	1							
	街道	1							
	小学校							2	
嬉しい	街並み					1			
	苔小牧					1			
合計		19	14	1	2	6	6	6	5

表4は共起ネットワーク図で抽出した6個正の感情を抱いた場所でのエピソードの経験値を種類別にしたものである。表4にある8つの経験値は土木学会論文集 Vol,77,No. 1に記載されているもの

表5 東部地域の感情抱いた場所の活動内容

①円福寺	・この時期の北風は身に染みる冷たさであるが、この頑張りの後にこそ、春のお告げを頂ける気がするのである。
②徳洲会病院	・きっと、重い気分を吹き払ってくれるような五月の風は吹いてくれるだろう ・私は病魔に苛立ち、不安感に動揺していた。 ・私の検査結果は今年もOKだったが、「気に病む」という経験をさせられたのである
③岩成山	・愛知用水の開発時に植えられた桜が開花してくれた。 春を告げてくれて嬉しい
④高蔵寺高校	・帰の長い坂はスリリングである。
⑤グルッポふじとう	・さあ、明日も、[緑と太陽と空間]を求めて、アップダウンの多いこの町を歩こう
⑥鹿乗橋	・庄内川に沿って料亭や別荘が立ち並び子供心にも景色の良い綺麗な所であると思えました。
⑦中日文化センター	・今は着物を着ることが好きである。
⑧高座山	・露の重さで山肌にしだれが美しいまでに咲き乱れての情景は、今も忘れる事の出来ないほど心に残っています
⑨高蔵寺駅	・出勤目の忙しい朝早くに駅まで送っていた自分を褒めてあげたい気持ちになる。 ・春日井市に入ると、なぜかホットいたしました。・夏も冬も季節の移り変わりが楽しめた
⑩東海自然歩道	・春日井にも森林浴に浸れる絶好のスポットがある
⑪春日井植物園	・彼らの話は面白い耕作の話から、他人様に余った野菜を貰って頂く少しの不満などなど、 ・鶉は真っ黒のはずだから〈もしかして新種?〉と私の胸は騒ぐ
⑫東部市民センター	・坂が多くとても住めそうにない。 ・『東部』の仲間とおやつタイムは至福である。これからだんだん人数が増えるだろう。そうすれば、もっともっと楽しくなる。
⑬道樹山	・とても大きな林で、奥が見えず、子ども心に恐怖心が芽生えた。 ・弥勤山・大谷山・道樹山の春日井東部三山は、標高440メートルと高くはないが、トレッキングするには格好のコースがあり、何回も山歩きを楽しんだ。

東部地域では鹿乗橋から景色や高座山の景色に感動しているもの道樹山で山登り、東海自然歩道で森林浴を楽しんでいるエピソードと東部市民会館で住民同士集まってする会話に楽しさを感じているエピソードがある。

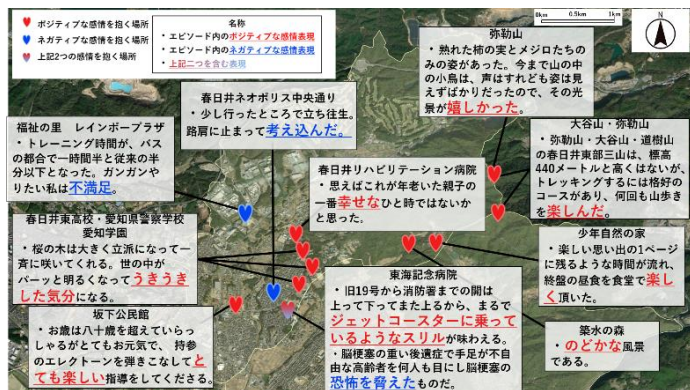


図10 北部地域の感情抱いた場所と活動内容

北部地域では春日井高校周辺で桜を見て気分があかるくなるエピソードや公民館で楽器を習い自分の楽器弾くことが楽しいと感じているエピソードがある。その他に北部地域でも山や森で自然を感じているエピソードが出てきた。

4. まとめ

正の感情を抱いているエピソードでは桜の鑑賞や小鳥のさえずりを聞くことがあり自然を感じることで綺麗な景観を見ることが多かった。文章には世の中が明るくなったような気分や穏やかな気持ちになれるとあった。お寺でのお花見の記憶では病気の夫と毎年通ってお花見をしてお一人で行って当時の記憶を思いだしているとあった。高座山・鹿乗山から景色で幼少期の水が綺麗だった時の川や料亭などが立ち並んだ綺麗な景色を思い出していた。昔から街にあるシンボルや多くの人を訪れた場所をなくすことはそこでの楽しかった思い出、その思い出を想起させるきっかけを消してしまう。まちづくりで新しいものをどんどん取り入れ便利にしていくことが街をよくしていくとは限らないと考える。楽しい記憶が読み取れるエピソードでは夫婦・家族・地域住民と一緒にいる記憶が多く見れた。定年後のウォーキングでは徐々に人が集まり活性化すると描かれていた。このことからこういった場所に正の感情を抱くということよりも誰といった場所の方が重要になるのではないかと考える。たとえ何もない場所でも大切な人といけばその人にとっては愛着をもつ場所になることが考えられる。まちづくりで街の今まであった場所をどんどん変えてしまうと住民が好きだった街の場所が減っていき愛着のない街になってしまい街の価値を守っていきなくなると考える。まちづくりを行う際には街にもとからある場所の価値を把握することが大切である。そのためにも街の各場所が住民にとってどのような場所なのか関係性を自分史から調べることが有効な方法だと考える。

参考文献

- 1) 後藤誠弥：自分史を活用した記録に残る空間の抽出方法に関する研究～感情と場の関係性に着目して～、中部大学卒業論文、2023年、2月
- 2) 湯川竜馬, 山口敬太, 久保田善明, 川崎雅史：日常生活圏における場所経験価値の評価手法に関する研究, 土木学会論文集, Vol.77, No. 1, pp.8-11, 2021年1月

鞍ヶ池公園のリノベーション事業の評価に関する研究

EC20028 黒川健志

1. 研究の背景と目的

近年、民間活力導入事業を行いノウハウのある民間事業者が公園の維持・管理を委託する地方公共団体が増えている。愛知県内でも小幡緑地や久屋大通公園などで行われ、公共施設の活性化に効果をもたらしている。その中でも本研究では、近年民間活力導入事業が行われ、豊田市の代表的な観光地である鞍ヶ池公園を対象地とする。

鞍ヶ池公園で行われた民間活力導入事業は、地方公共団体が指定管理料を払いノウハウのある民間事業者が公の施設を維持管理してもらうと同時に公園内で収益施設と公共部分を一体的に新設・整備してもらうというものである。

本研究ではこの民間活力導入事業によるリノベーション事業の効果をヒアリング調査とアンケート調査を通して明らかにし、鞍ヶ池公園および全国の同様な事業を行っている事例の更なる発展に繋げることを目的とする。

2. 研究の枠組み

2.1 対象地域の概要

鞍ヶ池公園は、1965年に開園した愛知県豊田市矢並町にある公園である。敷地面積は約95haの広大な土地を有しており、駐車場は無料で高速道路のICも近く車で行くにはアクセスの良い公園となっている。鞍ヶ池公園は2021年にリノベーション事業が行われたこともあり、図1で示すように様々な施設がある。リノベーション前からあるもの



図1 鞍ヶ池公園 園内マップ (豊田市提供資料より)

と、芝生広場、動物園、植物園、室内遊具、英国庭園などがある。リニューアル後は、民間活力導入事業によってカフェ、レストラン、大型アスレチック、キャンプ場、キャンプ用品店、乗馬体験施設などができた。

2.2 研究方法

本研究は主にヒアリング調査とアンケート調査をもとに研究を行っている。ヒアリング調査ではリニューアルの経緯や事業形式、運営側の状況について明らかにし、アンケート調査では公園の利用者意識を明らかにする。その結果をもとに民間活力導入事業によるリノベーション事業の評価を行う。ヒアリング調査は、鞍ヶ池公園を現在動物園以外の全てのエリアを管理している大和リース株式会社と元々管理していた豊田市の職員の方に対して質問に答えてもらった。アンケート調査は、鞍ヶ池公園内で紙のアンケートを配り、公園利用者の方に答えてもらった。

3. ヒアリング調査

3.1 豊田市へのヒアリング調査の概要

豊田市役所都市整備部公園緑地つかう課へ、公園全体や民間活力導入事業によるリニューアルについてヒアリング調査を行った。目的は、リニューアルの経緯や市が考える公園全体の評価等を明らかにし、民間活力導入事業による公園管理者側のメリットを考慮することや市の意見と公園利用者の意見の比較をすることである。豊田市役所都市整備部公園緑地つかう課へのヒアリング詳細は表1に示す。

表1 豊田市役所公園緑地つかう課へのヒアリング調査概要

調査日	10月19日
調査対象	豊田市役所公園緑地つかう課 伊藤さん
ヒアリング内容	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活力導入事業の方式 ・リニューアルの経緯、狙い ・市が考える公園のリニューアル前後の印象、問題点 ・その他関連資料提供のお願い

3.2 リノベーション事業の事業形式と経緯

鞍ヶ池公園の民間活力導入事業は指定管理制度、Park-PFI、DBO方式の3つの方式から成り立っており、それぞれ用途が異なっている。指定管理制度は公園管理者が設置する公の施設をノウハウのある民間事業者が指定管理料を払い管理を委託するもので、豊田市は大和リース株式会社に年間2億3200万円を支払っている。指定管理制度の狙いとしては、公園の年数が経ち増えていく維持管理費の削減と市の職員だけでは大きい公園を管理するのが難しかったため、民間の人手を借りた人手不足解消が狙いである。Park-PFIは公園管理者が民間事業者が公園内で収益施設と公共部分を一体的に新設・整備を委託するもので、公園管理者は公園のサービスレベル向上が狙いである。DBO方式は、公園管理者が公的資金で新たに施設の設計・施工を行いその施設の運営を民間事業者が委託するもので、鞍ヶ池公園では市民からの意見を反映してキャンプ場の新設を決めたが、専門家の意見よりキャンプ場を1から民間事業者で新設するのはコストもかかり難いためこの方式が用いられた。

3.3 豊田市が考える公園の問題点

豊田市が考える公園のリニューアル前後の問題点については、リニューアル前は市外の認知度が低いこと、公園の良さを活かしてきていないことがあった。リニューアル後は、来園者増加に伴う周辺道路の渋滞と安全対策、大屋根広場でのイベントが増え広場を一般利用しづらいという問題があった。

3.4 大和リース株式会社へのヒアリング調査の概要

鞍ヶ池公園指定管理を担当している大和リース株式会社へ、民間活力導入事業によるリニューアルについてヒアリング調査を行った。目的は、来場者数の推移やリニューアルの経緯・新設した施設の狙いについて明らかにし、民間活力導入事業の効果・民間事業者側のメリットを考えるためである。大和リース株式会社へのヒアリング詳細は表2に示す。

表2 大和リース株式会社へのヒアリング調査概要

調査日	9月15日
調査対象	大和リース株式会社名古屋支社 永井大輝さん
ヒアリング内容	・年間の来場者数の推移・施設別での来場者数 ・リニューアルと各施設導入の経緯、狙い ・民間活力導入事業で得られた収益 ・その他関連資料提供のお願い

3.5 リニューアルの経緯、狙い

表3が示すのは大和リース株式会社から提供してもらった鞍ヶ池公園の年間の来場者数である。2021年のリニューアル後に年間の来場者数は20万人以上増えていることが分かった。大和リース株式会社が鞍ヶ池公園の民間活力導入事業に応募した理由は公園の3つの特徴にある。1つ目は、芝生広場の上に大屋根ドームがあるため、天候に左右されずにイベント等を行うことができること。2つ目は、昔から豊田市民に愛されている公園で景観もよく、一定の来場者数がとれること。3つ目は、高速道路の出口も近くアクセスが良いこと。このように鞍ヶ池公園は公園自体のポテンシャルが高く、店舗や施設で商売する際の利益が見込めるため民間活力導入事業に応募を決めた。また、民間活力導入事業によって儲けた利益については回答が得られなかった。

表3 来場者数の推移

年	年間来場者推移
2018年	約121万人
2019年	約122万人
2020年	約111万人
2021年	約142万人
2022年	約145万人

表3が示すのは大和リース株式会社が鞍ヶ池公園の民間活力導入事業に応募した理由は公園の3つの特徴にある。1つ目は、芝生広場の上に大屋根ドームがあるため、天候に左右されずにイベント等を行うことができること。2つ目は、昔から豊田市民に愛されている公園で景観もよく、一定の来場者数がとれること。3つ目は、高速道路の出口も近くアクセスが良いこと。このように鞍ヶ池公園は公園自体のポテンシャルが高く、店舗や施設で商売する際の利益が見込めるため民間活力導入事業に応募を決めた。また、民間活力導入事業によって儲けた利益については回答が得られなかった。

4. 公園利用者へのアンケート調査

4.1 鞍ヶ池公園利用者へのアンケート調査概要

各公園利用者に対し、公園の利用状況や意識に関するアンケート調査を行った。目的は、公園の利用実態、利用者の意識を明らかにし、民間活力導入事業の効果や公園の更なる活性化について考えることである。鞍ヶ池公園利用者へのアンケートの詳細は表4に示す。

表4 鞍ヶ池公園利用者へのアンケート調査概要

調査日	11月19日、26日
調査時間帯	12:00~16:00
調査方法	用紙配布によるアンケート調査
対象場所	鞍ヶ池公園内 (芝生広場、室内遊戯施設、動物園、キャンプ場)
対象者	鞍ヶ池公園利用者
回答数	80
質問項目	・居住地域・年齢・同行者の年齢・公園までの移動手段 ・鞍ヶ池公園の認知方法・公園に来た目的 ・リニューアルの認知 ・リニューアル前後の来園頻度の変化と理由 ・リニューアル前後を比較した公園の印象 ・良かった、また利用したい施設・魅力がなかった施設 ・新たに取り入れてほしい、増設して欲しい施設 ・公園全体の良かった点・公園全体の改善点

4.2 鞍ヶ池公園の利用実態

表5から読み取れるように来場者の年齢層は20代から50代の家族連れの方が多かった。

表5 回答者の年齢の集計

10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1人	0人	22人	24人	16人	13人	3人	1人

表6から読み取れるように鞍ヶ池公園の認知方法は、①近所だから②昔から来ていた③友人・知人からのすすめが多く、④から⑩の鞍ヶ池公園や豊田市の公式があげているホームページやYouTube・InstagramなどのSNS等を使った宣伝はあまり効果が出ていないことが分かった。

表6 鞍ヶ池公園の認知方法の集計

①	②	③	④	⑤	⑥
14人	44人	17人	3人	0人	0人
⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
2人	2人	1人	1人	5人	

凡例

- ①近所だから②昔から来ていた③友人・知人からのすすめ
- ④公園のホームページ⑤豊田市のホームページ
- ⑥YouTube・TikTok⑦Instagram⑧Twitter
- ⑨テレビの取材⑩観光サイト・ブログ⑪その他

表7から読み取れるように回答者の居住地域は豊田市内と愛知県内が多く、県外から来ている人も数人いた。

矢並町	豊田市内	愛知県内	その他
0人	35人	40人	5人

4.3 リニューアル前後の比較

表8はリニューアル前後の来園者頻度変化の集計である。増えた・少し増えたという人が半数以上となっており、全体的に来場者数が増えていることが読み取れる。また、リニューアル前後で来園頻度が増えたと答えた人は飲食できるお店ができた・子どもの遊び場が増えたという理由が多くとなり、来園頻度が減ったと答えた人は子どもが大きくなったからという人が多かった。

表8 リニューアル前後の来園頻度変化の集計

増えた	少し増えた	変わらない	少し減った	減った
5人	31人	37人	2人	3人

表9はリニューアル前後を比較した公園の印象の集計である。良くなった、少し良くなったと答えた人が全体の6割以上で少し悪くなった、悪くなったと答えた人は1人もいなかったため、リニューアルの効果が出ていると感じる。

表9 リニューアル前後を比較した公園の印象の集計

良くなった	少し良くなった	変わらない	少し悪くなった	悪くなった	分からない
30人	23人	17人	0人	0人	10人

4.4 地域別の比較

表10、表11から読み取れるように、豊田市内から来ている人はリニューアルのことを知っており来

園頻度も増えたと答えている人が多いが、豊田市内から来た人はリニューアルのことを知らず、来園頻度も変わらないと答えている人が多く、リニューアルの効果が市外の人にはあまり出ていないことが分かる。また、豊田市内から来ている人は飲食店を豊田市内から来ている人は子どもの遊び場を特に求められていることが分かった。

表10 地域とリニューアルの認知の集計

	認知	良く知っている	知っている	なんとなく知っている	変化が分からない	全く知らない
地域						
矢並町		0人	0人	0人	0人	0人
豊田市内		4人	22人	5人	0人	4人
愛知県内		3人	10人	7人	0人	20人
愛知県外		0人	0人	4人	0人	1人

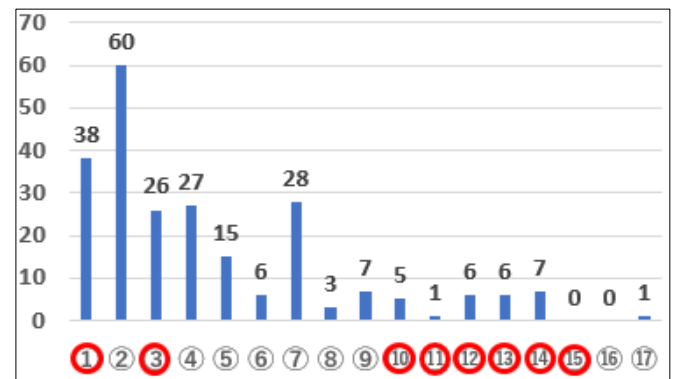
表11 地域とリニューアル前後の来園頻度の集計

	来園頻度	増えた	少し増えた	変わらない	少し減った	減った
地域						
矢並町		0人	0人	0人	0人	0人
豊田市内		4人	17人	11人	2人	1人
愛知県内		1人	11人	25人	0人	2人
愛知県外		0人	3人	2人	0人	0人

4.5 新施設と公園全体の評価

図2は利用者の良かった・また利用したい施設の集計である。印がリニューアル後にできた施設である。①のカフェや③の芝生広場のイベントは人気があったものの、他の施設はリニューアル前の施設と比べてもあまり人気がなく、これらの宣伝や見直しが課題となっている。

図2 利用者の良かった・また利用したい施設の集計(複数選択可)



凡例 ※○がリニューアル後に新しくできた施設

- ①STABRUCKS COFFEE②芝生広場③芝生広場のイベント
- ④動物園⑤ふれあい広場⑥植物園⑦子どもの室内遊戯施設
- ⑧英国庭園・四季の里⑨ポート⑩キャンプ場⑪乗馬体験施設
- ⑫Snow Peak(ショップ)⑬Snow Peak Eat(レストラン)
- ⑭有料アスレチック⑮サービスセンター⑯特になし⑰その他

表12は豊田市があげている令和4年度鞍ヶ池公園の施設ごとの年間来場者数である(芝生広場や動物園、四季の古里は対象外)。図2からリニューアル後にできた施設がリニューアル前にある施設と比べ人気が出ていないことがわかったが、表12を見るとリニューアル後の施設もある程度の来場者数

が取れており、下位の施設は単価が高いことを考えれば、利益をあげられていると考えられる。

表 12 令和 4 年度鞍ヶ池公園各施設の年間来場者数

(※ 赤字はリニューアル後に新しくできた施設)

施設名	年間来場者数	施設名	年間来場者数
カフェ	103906人	大型有料アスレチック	19626人
植物園	65300人	ボート	13918人
レストラン	61821人	園内移動バス	10980人
プレイハウス	55800人	住み箱	1638人
芝生広場イベント	51100人	交流イベント	1585人
キャンプ用品店	47021人	乗馬体験施設	843人
パークトレイン	26193人	キャンプデッキ	803人

表 13 から読み取れるように公園全体の良かった点としては、景観が良い、家族で来やすい、施設が充実しているという意見が多かった。

表 13 公園全体の良かった点の集計(複数選択可)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
7人	40人	39人	50人	10人	37人	6人	33人	10人	1人

凡例 ①イベントが多い②楽しめる施設が多い ③景観がきれい④家族で来やすい ⑤交通の便が良い⑥無料施設が充実している ⑦植栽がきれい⑧子どもが楽しめる場所が多い ⑨駐車場が多い⑩その他

公園全体の不便・改善してほしい点は表 14 から読み取れるように②の駐車場が少ない⑤の園内が広く施設も離れているため移動が大変⑧の子ども向けの施設を増やして欲しいという意見が多かった。その他でも駐車場から公園の各施設までが遠いなど、公園内の移動を不便に感じてる人が多かった。

表 14 公園全体の不便・改善してほしい点の集計(複数選択可)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
4人	24人	3人	1人	13人	4人	5人	16人	16人

凡例 ①周辺道路の渋滞②駐車場が少ない ③バスの本数が少ない④キャンプ場の火の心配 ⑤園内の移動が大変⑥芝生広場のイベントを増やしてほしい ⑦芝生広場の一般利用を増やしてほしい ⑧子どもが楽しめる場所を増やしてほしい⑨その他

5. まとめ

5.1 リノベーション事業の評価

鞍ヶ池公園で行われた民間活力導入事業によるリニューアルは豊田市の課題であった公園の年数が経ち増えていく維持管理費の削減と民間の人手を借りた公園の職員不足解消につながっていた。民間事業者である大和リースにとっては、表 12 から推測できるように利益向上につながる事業となっていたことがわかった。

また、アンケート調査から来園頻度が増えており、公園の印象も良くなったという意見が多かったため、リニューアルの良い成果が出ていたと感じる。リニューアルによって新しくできた施設では、憩いの場となるカフェ、子どもの向けのアスレチックや乗馬体験施設、市民の声から作ったキャンプ場など鞍ヶ池公園の来場者に多い 20 代から 50 代の家族や恋人と来ている人を中心に様々なニーズに対応したものとなっていた。このように鞍ヶ池公園で行われたリノベーション事業は公園利用者にとっても満足度 up・公園のサービスレベル向上につながる事業だった。

5.2 リニューアル後の問題解決の提案(考察)

アンケート調査の結果から豊田市外の人に公園が認知されていないこと、新しくできた施設の中で人気がない施設があることが問題点としてあげられた。現在でも豊田市の公式で YouTube や Instagram などの SNS を使った公園や各施設の宣伝を行っているが、再生回数はあまり伸びていない。しかし、公園の来場者の年齢層が比較的若い人が多いことから SNS を使った宣伝は効果的だと考えられる。そのため、案として影響力のあるインフルエンサーに宣伝の依頼を行うこと、民間事業者ならではの SNS 内の広告による宣伝、各施設の料金設定の見直しが効果的だと考える。また、新しい施設が増えたこともあり、図 1 のように駐車場から公園の各施設までが遠く公園内の移動の不便さも問題にあげられていた。これに関しては、現在鞍ヶ池公園のサービスセンターで貸し出しているセグウェイの使用可能な範囲を駐車場から各施設まで拡大・増加することで解決できると考えられる。

5.3 結論

本研究のように公園で行われる民間活力導入事業は、公園管理者の維持費・人手不足などの問題点解消、民間事業者の利益向上、公園利用者の満足度 up につながる有意義な事業であることがわかった。しかし大きな事業行くと、今回のように新たな問題点生まれ、解決するためには工夫が必要である。参考文献

令和 5 年度 鞍ヶ池公園評価委員会 評価結果報告
https://www.city.toyota.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/050/873/r0510/01.pdf(参照 2023-12-4)

相生山緑地における都市計画道路事業実施の是非に関する研究
 ～地域住民へのアンケート調査を踏まえて～

EC20067 馬場 陽平

1. 研究の背景と目的

本研究の対象とした相生山緑地の中を走る弥富相生山線は 1957 年に都市計画道路に決定した。その後 1993 年に事業認可して今尚建設中断になっている。社会情勢の変化により「都市計画道路を作る時代」から「今ある都市計画道路を活かす時代」となっている。この道路は相生山緑地という大きな緑地帯の中央部に建設する計画で 2004 年 2 月に施工が開始された。建設当初から相生山緑地に生息するホタルなどの生態系への影響が出ており名古屋市長の河村市長の指示により 2010 年に工事が中断された。弥富相生山線道路建設問題では名古屋市の方針として交通渋滞の緩和が主な位置付けとされて、弥富相生山線の道路が開通した際には相生山から野並方面にぬける交通流を改善することができる。本研究はまず、関連団体の住民から意見が出た①植物について、②ヒメボタルについて、③道路交通について、④生活環境について、の 4 項目を名古屋市が開催した学術検証委員会の資料からわかる議事録内容の検証を行った。そして、今まで明らかにされていない「声を上げない」地域住民へのアンケート調査を行い、地域ごとの特色をまとめて地域住民の本当の意見を明らかにすることを目的とする。

2. 研究の枠組み

2.1 研究対象の概要

研究対象地である相生山緑地は、愛知県名古屋市天白区天白町大字野並に位置する。面積約 123.7ha、標高約 60m である。相生山緑地は東部丘陵地にあり、1940 年に当時の防空緑地として都市計画された。相生山緑地で活動している団体は相生山緑地オアシスの森クラブ、協力天白区役所地域推進室が行っている、竹林管理活動、炭焼き、ツツジの園づくり、アカマツ林再生プロジェクト、生物多様性と各環境講座、総合学習の支援などがある。弥富相生山線の

周辺地域では弥富相生山線を軸として道路区域沿線開発によりまちづくりが進められた。



図 1 相生山緑地位置図

引用：名古屋市；都市計画道路 3・4・79 号弥富相生山線

対象地である相生山緑地は 2018 年に名古屋市が策定した「長期未整備公園緑地の都市計画の見直しの方針設備プログラム」の方針の中に相生山緑地は 32 個の長期間未整備公園緑地に相生山緑地は属している。このような長期間未整備となっている、公園緑地、道路は全国的に多くの自治体が抱える課題となっている。「長期未整備公園緑地の都市計画の見直しの方針設備プログラム」とは都市計画公園緑地の整備が完了するには莫大な資金と時間を要するため、都市計画公園緑地の見直しの考え方として 10 年を単位とした事業着手時期をまとめ、都市計画の見直しの方針及び整備プログラムを改定したものである。未整備という観点から目的である地域住民の声を聞き地域住民の意見を明らかにする。

2.2 事業の概要経緯

整備目的として都市計画道路弥富相生山線は、名古屋市の幹線街路として、都市の円滑に形成する

道路であり、都市内におけるまとまった交通を受け持つとともに、交通処理と良好な市街地形成、さらに災害時の災性の向上を図る目的である。本体事業費は全体事業費約 36 億円、執行済額は約 25 億円となっており、平成 25 年度末進捗率は約 80%の残り 20%残して中断となっている。

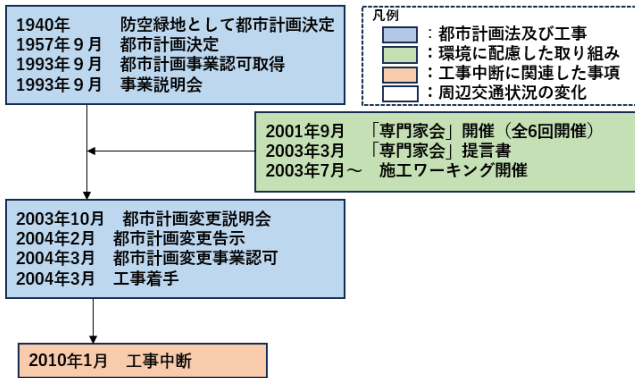


図 2 中断までの流れ 名古屋市；都市計画道路 3・4・79 号弥富相生山線を引用して筆者が加工

2.3 学術検証委員会

2010 年の市長による事業の中断から学術検証委員会の開催が始まる。目的として、相生山緑地の道路建設に係る諸課題や問お題点を広く学術の観点から総合的に検証。概要は専門分野の学識者で構成し 2010 年 2 月から 10 月までに計 6 回開催して 12 月 9 日に河村市長に検証結果の報告。学術検証委員会の報告とともに調査検証とそれに伴う対策として通り抜け対策、渋滞対策を実施、相生山緑地・緑地計画検討会開催 (2020 年 10 月)、学術検証懇談会の開催 (2021 年 3 月)。10 年経過したことによる交通状態と環境の変化を踏まえた上で再度学術検証し新たな知見等からの意見を参考に行う。

2.4 調査目的

名古屋市のホームページにある名古屋市都市計画道路 3・4・79 号弥富相生山線にある学術検証委員会の市民の声から、①植物について、②ヒメボタルについて、③道路交通について、④生活環境についての 4 項目を取り上げてアンケートを作成して相生山緑地利用者に現地アンケート調査や近隣住民の家にポスティング調査を行う。現地アンケートとポスティングのアンケート内容は同じでポスティングアンケート調査は Google フォームで作成して URL

にて行ってもらうこととする。調査目的として、利用者と地域住民との意見の相違を明らかにする。ポスティング調査ではそれぞれの地域で問題があり、野並・島田では渋滞問題、山根学区では通り抜け問題、天白川を挟んだ白砂町では弥富相生山線の実態を知っているかなどの距離で意見相違などを比べることを目的とする。

3. 調査方法

3.1 アンケート調査概要

アンケート調査は現地調査とポスティング調査の 2 つに分けて行った。ポスティング調査は総配布数 400 枚、結果は 101 枚収集ができた。12 月 15 日高宮町・西入町・山根町に 100 枚。12 月 20 日一つ山・境根町・久方町・島田で 170 枚配布 12 月 21 日野並・福池町・菅田町に 130 枚配布。

表 1 アンケート調査配布概要

調査日	11月5日・8日・18日	11月29日 12月15日・20日・21日 1月6日
調査時間帯	9時～12時	12時～14時 (約2時間程)
調査日方法	現地アンケート調査	ポスティング調査
対象者	利用者	周辺住民
対象地域	相生山緑地	周辺地域
回答数	19人	114人

表 2 アンケート調査項目

・性別・年齢・居住地域・利用目的・利用頻度・魅力度・魅力理由
・日常の移動手段・弥富相生山線の有無・家族に小中学生がいるか
・山根学区での通り抜け問題は開通したら解決するか・自然環境・生態系の変化
・弥富相生山線の開通に賛成・反対か・主要交差点での渋滞問題は開通したら解決するか・建設前後でのホテルの変化

3.2 アンケート結果

アンケート問 5.相生山緑地 (オアシスの森) は普段どのくらいの頻度で利用しますか、という質問では大きな差が生まれ現地アンケート調査の方はほぼ毎日利用している人が半分いるのに対してポスティング調査の方は人生で 1 回ほどが一番多く周辺地域でもこれほどの差が生まれた。

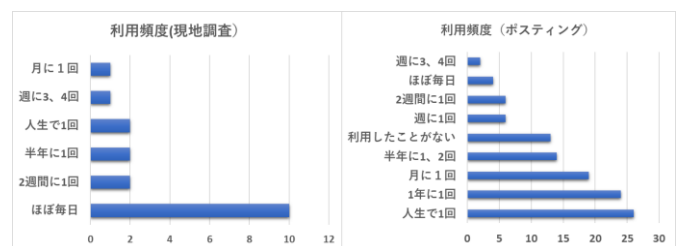


図 3 利用頻度 アンケート結果

アンケート問 9.都市計画道路弥富相生山線は、名古屋

屋市都市計画の幹線街路として、2004年に着工された。そして地域住民などの反対があり2010年に8割完成した後2割程残したまま一旦工事が中断となった。現在でも建設取り止めか完成に向けて工事を再開するかで議論されています。弥富相生山線道路建設が現在こういった問題を抱えていることをご存知ですか。という質問では利用者也周辺住民も共通認識していることがわかる。ただ、利用者の方が「よく知っている」の割合が高いことが分かる。

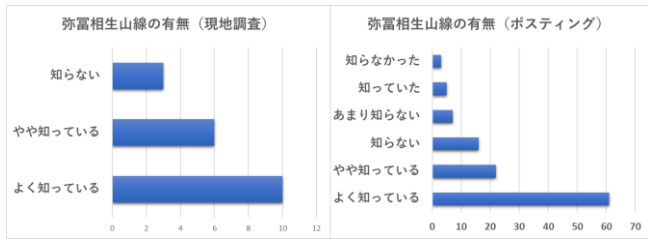


図4 弥富相生山線の有無 問9.アンケート結果

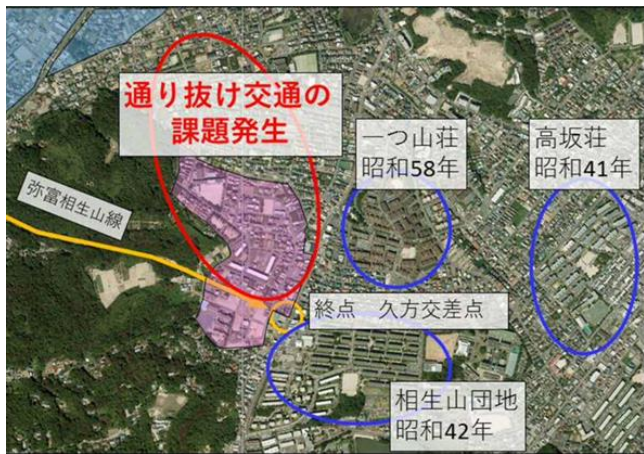


図4 通り抜け問題参考図

引用：名古屋市；都市計画道路3・4・79号弥富相生山線

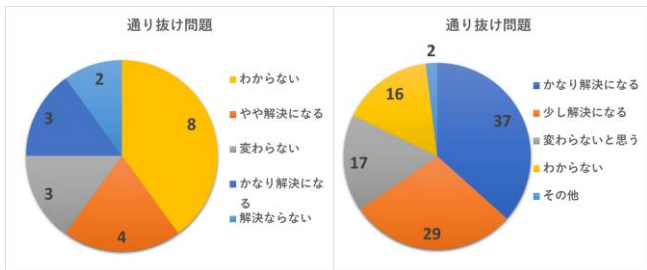


図6 通り抜け問題 アンケート結果

アンケート問11.山根学区(上図の紫色の地区)の地域で自動車の通り抜け問題が発生しています。山根小学校も近い事から子供の通学路であり車との接触が危険視されています。弥富相生山線が開通した場合、自動車の通り抜け問題は解決されると思いますか、という質問では現地アンケート調査では分からないという人が多いこのアンケートから利用者

は開通して問題解決はあまりしないという意見が多くみられる。ポスティング調査は半数以上が解決すると思っており、生活道路が増えるため解決すると答えた人多く見られた。アンケート問12.相生山緑地未整備道路弥富相生山線の工事前と後での相生山緑地の自然環境や生態系(昆虫・小動物・野鳥)に何らかの変化があったと感じますか。という質問では分からないが一番多く順番も同じになり、利用者も地域住民も認識は変わらないことが分かる。

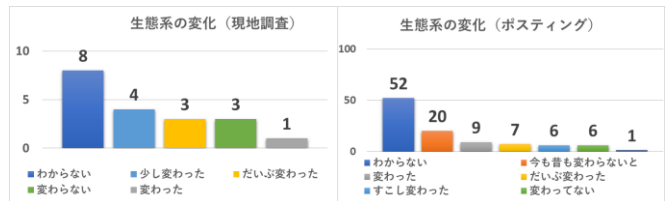


図7 生態系の変化 問12.アンケート結果

アンケート問13.相生山緑地未整備道路弥富相生山線の開通に賛成か反対か。という質問では利用者も地域住民で大きく違いが現れた。まず、利用者は反対が半数を超えており強い意志を持って理由が明確な人が多く見られた。それらとは逆に地域住民はどちらかと言えば賛成を含めると半数以上が賛成と答え意見が別れた。利用者は自然環境・生態系の破壊を恐れており、現在の自然環境を崩したくないという意見多く見られた。逆に地域住民の人は色々な意見があるが移動時の利便性向上であったり、小学校の付近での通り抜け問題の解決であったり、事業が始まり途中で止めるのは反対という意見が複数見られた。ここでの違いは利用者は自然環境・生態系の変化に重点を置き、地域住民は利便性、交通問題におもきを置いていることが分かる。

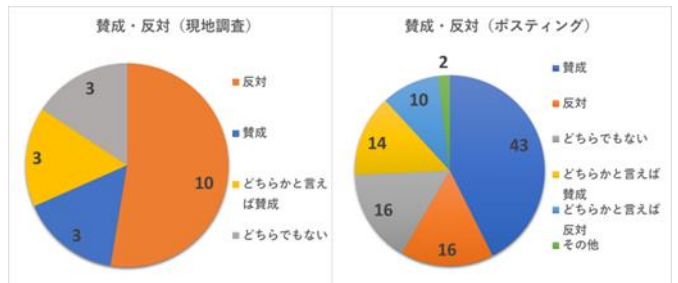


図8 賛成・反対 アンケート結果

アンケート問14.開通した場合、主要交差点である野並・島田交差点での渋滞は解決になると思いますか。という質問では問13の質問で出た地域住民は利便性、交通問題に重きを置いているためやや解決

になる、を含めて 70%解決すると答えた人がいた。

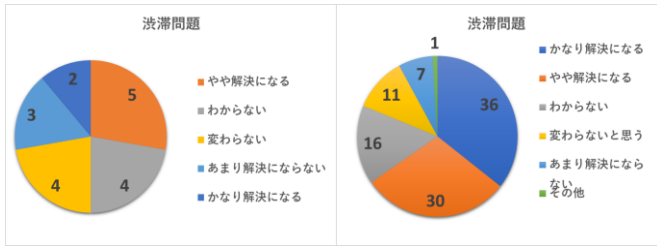


図9 渋滞問題 問14.アンケート結果

3.2 ヒアリング調査概要

相生山の自然を守る会の野田さんと相生山緑地を考える市民の会の福井さんにヒアリング調査を行った。日時は12月28日場所は相生山緑地内にある徳林寺、時間帯は13時半～15時。質問内容はアンケート調査と同じく4項目を軸に質問を行った。目的は名古屋市に関して反対団体はどのような考えを持っているのか聞き取りを上げない住民との意見を比較を行うことを目的とする。

3.3 地域ごとの特色

島田では交通渋滞が発生しており弥富相生山線が開通した場合、交通の分散が起きて渋滞は緩和される声が多い。野並でも交通渋滞が発生しており渋滞緩和さらに通り抜けが多く、開通に賛成の人が多く。山根町では小学校付近で通り抜けが頻繁に発生しており、小学生の安全の方が大切との声が多い。久方町では開通した場合相生山駅の交差点で渋滞が懸念され開通しても意味がないという意見がみえた。白砂町は天白川を挟んだ場所にあり、開通しても利用するかわからないという意見がある。地域住民は開通に賛成の人が多く分かった。

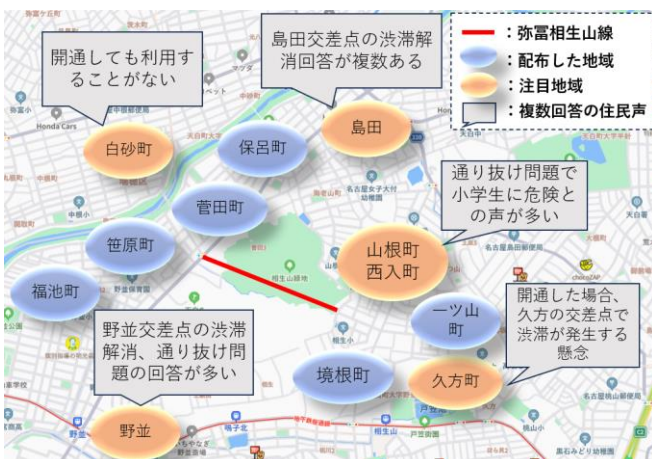


図5 配布地域の特色

4 考察・まとめ

名古屋市が学術検証委員会で検証した市民の意見から出た4項目を視点にアンケート調査を行った結果、利用者と周辺住民での意見の違いが生まれた。地域ごとに交通問題などがあるため地域ごとに特色を明らかにした。野並・島田地域では渋滞が問題視されているため開通賛成理由などに渋滞緩和のため開通して欲しいとの声が多数見られた。ただ、ヒアリング調査で野並・島田交差点の道幅増幅工事によって解消されていると、逆の意見も出た。地域住民も自然を守るためと反対理由にした人は多く見られた。しかし、天白川を挟み少し離れた白砂町では開通しても利用はしないという意見も出た。その為相生山緑地からの距離で認識の違いがあることが分かった。天白区は橋を渡らないと瑞穂区、南区、昭和区の隣接した区にはいけない。その為通勤時退勤時などの時間帯になると主要交差点である野並・島田での渋滞がおきるため弥富相生山線の開通が行われることになれば渋滞緩和が予想されるため相生山緑地から離れた場所の人は開通に賛成が多く見られた。アンケート結果から反対者は地域住民ではなく他の地区に住んでいる人であり、自然環境を重要視している。賛成者は地域住民の方が多く地域ごとに交通問題があり改善を必要としている。ただ、都市計画道路は決定した場合建設は極力行わないといけませんが、建設前の自然環境のために色々なシミュレーションや地域住民の配慮が足りないと考える。今後も相生山緑地未整備道路問題のような事例が出ないように弥富相生山線の問題を拡散し周知させることで相生山地域住民での話し合いを密に行うことが重要である。里山を守りいかに利用しやすい緑地を考えていく必要がある。

参考文献

- 1) 名古屋市:都市計画道路 3・4・79号 弥富相生山線 (市政情報) (city.nagoya.jp) (参照 2024年 -1月5日)
- 2) 名古屋市:「長期間未整備公園緑地の都市計画の見直しの方針と整備プログラム (第2次)」について (市政情報) (参照 2023-12月28日) <https://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-10-9-24-0-0-0-0-0-0-0.html>

閉園した遊園地・テーマパークの跡地利用に関する研究

EC20070 藤田 賢太郎

1. 研究の背景と目的

1-1 背景と目的

遊園地・テーマパークは現在、若年層の人口減少による来場人数の低下、対象としていた世代の高齢化による遊園地・テーマパークに対する興味の低下、総合施設（ショッピングモール、ゲームセンター等）の増加、経済状況の悪化による影響等、の理由で衰退が続いている。そして、これからも閉園する遊園地・テーマパークの数は増加すると想定される。また、遊園地の跡地は更地や廃虚となるケースも多く、活用方法を見直すことに重要性和必要性があると考えた。また、多数の跡地を同時に比較した先行論文は少なく、GIS を結び付けた研究や分類分けした上で比較するなど、独自性のある研究ができると考えた。

研究目的は閉園した遊園地・テーマパークの跡地が現在どのように利用されているかを調べ、遊園地・テーマパークの跡地の利用法補に関する問題点を抽出することを目的とする。

1-2 跡地が有効活用されにくい理由

跡地が活用されにくいのは多くの問題を抱えているからである。敷地面積が広く再開発する際には多額の資金が必要になる点、それに伴い計画から実行までに時間がかかる点、一部の遊園地は都市から離れた場所にあるためアクセスが悪いという点、遊園地として利用された土地には騒音問題や土壌汚染などの環境面での問題があることがある点、地域住民に反対をされる可能性がある点、建築基準法や都市計画法などの法律や規制に沿った許可が必要で規約が厳しい場合は開発が難しくなる点などがあげられる

2. 研究の枠組み

2-1 遊園地・テーマパークの跡地の定義

遊園地とテーマパークの定義は変化している。

井手信雄の「テーマパークの定義」（2003 年）特別サービス産業実態調査報告書は昭和 61 年・平成 5 年・平成 9 年・平成 13 年で定義区別が変わっており、昭和 61 年の規定が「この調査は一定のスペースに樹木、池等自然の環境を有し、遊戯施設を設備し、客に娯楽を提供することを業務としている事務所を対象としたものである」となっていて、昭和 61 年には遊園地とテーマパークとの区別はされていなかった。また、テーマパーク・遊園地の多くが昭和 61 年から平成 5 年の間を通過しているものが多い点、現在のテーマパーク・遊園地の定義を閉園し終えたテーマパーク・遊園地に適応できるのかという問題、現在のテーマパーク・遊園地の分類分けをするため具体的な情報が残っていない又は信憑性にかける箇所が数多くあるという問題を踏まえた上で、昭和 61 年の定義「この調査は一定のスペースに樹木、池等自然の環境を有し、遊戯施設を設備し、客に娯楽を提供することを業務としている事務所を対象としたものである」を用いて該当する遊園地・テーマパークの跡地を遊園地・テーマパークの跡地とする。

2-2 研究対象の概要

国内 144 か所を対象に遊園地・テーマパーク跡地の利用状況の分析をする。

2-3 調査方法

Wikipedia の情報を元に、住所、開園した年と閉園した年、跡地の利用方法をデータに落とし込む。遊戯施設的具体例が確認できなかったものを除外し落とし込んだデータを分析せきし、閉園した遊園地の傾向を探る。その後GIS に落とし込み立地状況を分析し、傾向と問題点を抽出していく

2-4 Wikipedia の情報を扱うことに関して

2-4-1 Wikipedia の信用度に関して

ヤフーバリューインサイト株式会社「情報メディアに関する調査」（2009 年）と株式会社ドゥ・

ハウス「情報メディアに関する利用実態調査」(2010年)では、Wikipediaの情報はテレビやラジオには劣り、雑誌を上回る程度とされていた。

2-4-2 本研究に関する項目の信用度に関して

精度を測るために、開園年、閉園年、利用方法5分類を先行論文と比較して精度を出すため、他の先行研究と対象が一致した閉園した遊園地・テーマパークと4つの項目の情報の比較をした。利用させていただいた研究は①川崎泰之月「鉄道沿線まちづくりに関する研究～遊園地の跡地利用計画について～」(2013年8月)②瀬川明日奈、中島直人、黒瀬武史「国内の閉園した遊園地・レジャー施設の跡地利用に関する研究－既存施設を再活用した事例の閉園前後のプロセスと利用者の変化の比較検証－」(2016年8月)③中井研究室 加藤誠士「運営期間別にみる閉園遊園地の土地利用転換に関する研究」(2019年)④川崎泰之「鉄道会社が経営する郊外遊園地の跡地利用に関する研究」

(2014年10月)である。比較した結果はWikipediaと1論文を比較して1つの遊園地当たり約0.105個ずつ食い違いが出てくるのに対し、1論文同士を比較して1つの遊園地当たり約0.214個の食い違いが出てきた。そのことから他の論文元の情報に比べて、極めてWikipediaの情報の信憑性が欠けることはないと考えられる。

3. 調査結果

3-1 全体像の分析

3-1-1 遊園地・テーマパークの跡地の利用方法

表2 利用方法の種類で多く出た項目

分類	分類項目	事例数
分類1	商業施設やショッピングモール等	44
分類2	住宅地やマンション等	11
分類3	公園や緑地等	22
分類4	ソーラーパネルによる開発エネルギー事業	8
分類5	複合型文化施設やイベントスペース等	14

利用活用の多かったものは表2のようになった。その他の事例としては、更地、会員制、再園、学校、幼稚園、倉庫、廃虚、一般公開、駐車場、工場、大学、ホテル、宿駐輪場、墓地、医療があった。

3-1-2 県と閉園した遊園地・テーマパークの関係

県別の閉園した遊園地・テーマパークの個数で1番多かった都道府県は大阪12か所、2位北海道11か所、3位兵庫県広島県9か所という結果がでた。(表3)

表3 県と跡地の数の集計

順位	1~10		11~20		21~30		31~40		~47	
	都道府県	事例数	都道府県	事例数	都道府県	事例数	都道府県	事例数	都道府県	事例数
1	大阪府	12	熊本県	4	岐阜県	3	茨城県	2	秋田県	1
2	北海道	11	岡山県	4	神奈川県	3	山梨県	1	青森県	1
3	広島県	9	山口県	3	愛知県	3	山形県	1	和歌山県	0
4	兵庫県	9	新潟県	3	富山県	2	三重県	1	宮崎県	0
5	東京都	8	奈良県	3	栃木県	2	福島県	1	福井県	0
6	愛媛県	6	鳥取県	3	千葉県	2	長野県	1	佐賀県	0
7	石川県	6	滋賀県	3	香川県	2	長崎県	1	高知県	0
8	静岡県	5	埼玉県	3	沖縄県	2	徳島県	1		
9	宮城県	4	群馬県	3	大分県	2	島根県	1		
10	福岡県	4	京都府	3	岩手県	2	鹿児島県	1		

3-1-3 地方と閉園した遊園地・テーマパークの関係

地方別の閉園した遊園地の個数は1位関西地方31か所、2位は中部地方24か所、3位関東地方23か

表1 Wikipediaの情報を一部まとめたもの

事例	県	開園	閉園	利用方法	事例	県	開園	閉園	利用方法	事例	県	開園	閉園	利用方法
赤坂高原牧場クローネンベルグ	群馬県	1994	2017	1	いしかわ動物園	石川県	1958	1998	再園	TBS博覧会	北海道	1970	1987	
赤坂遊園地	広島県	1972	1991	2	亀山公園子供の国	香川県	1964	2007		手取遊園地	石川県	1955	1971	1
アカシヤランド	石川県	1964	1974	2	藤小浜パーク	愛媛県	1956	2001	1	天華園	北海道	1992	1999	4
秩津有楽園	熊本県	1963	2016		藤ヶ崎ヤングランド	静岡県	1927	1993	1	天山園遊園地	大阪府	1888	1897	
朝霞テック	埼玉県	1964	1973	1	まびの郷ワンダーランド	岡山県	1980	1996	13	豊泉湖ランド	兵庫県	1969	2000	
アジアパーク	熊本県	1990	2000	更地	京山ロープウェイ遊園地	岡山県	1956	1998	14	豊泉湖	東京都	1926	2020	1
足立の庄	愛媛県	1990	2006	1	キラリゲンデンコミュニティ	兵庫県	1998	2001	12	鳥取プレイランド	鳥取県	1986	1995	35
アメーザジグスクエア	東京都	1987	2000	1	近鉄あやめ池遊園地	奈良県	1926	2004	25	とやのレイクランド	新潟県	1989	1996	5
アリスの森	茨城県	1989	1993		近鉄玉手山遊園地	大阪府	1908	1998	3	長崎遊園地	長崎県	1957	1996	12
アリバシティ神戸	兵庫県	1992	1997		倉敷チボリ公園	岡山県	1997	2009	13	那須ロイヤルセンター	栃木県	1967	2000	1
東崎遊園地	石川県	1925	1941	5	グリュック王国	北海道	1989	2007	13	奈良ドリームランド	奈良県	1961	2006	6
生駒テック	奈良県	1961	1965	1	兵衛ポトピアランド	広島県	1992	1998	1	新沼遊園地	新潟県	1949	1994	3
窓絵芸術村チロルの森	愛媛県	1996	2009		京玉遊園地	東京都	1927	1947	12	仁尾サンシャインランド	香川県	1984	1995	14
伊豆富士見ランド	静岡県	1966	1999	1	化女沼レジャーランド	宮城県	1979	2001	1	緑沢遊園地	北海道	1926	1970	
市岡パラダイス	大阪府	1925	1934	1	甲賀ファミリーランド	滋賀県	1985		1	錦糸香椎花園	福岡県	1956	2021	1
一畑パーク	島根県	1961	1979		甲子園阪神パーク	兵庫県	1929	2003	1	仁別レジャーランド	秋田県	1982	1989	
到津遊園地	福岡県	1932	2000	3	神戸ポートピアランド	兵庫県	1981	2006	1	ニッフルランド	福岡県	1995	1998	1
いなせランド総合遊園地	北海道	2001			香蘭園遊園地	兵庫県	1907	1913		野郎ドリームランド	新潟県	1981	1986	
いなせオーシャンランド	千葉県	1973	1989	5	深川市桜山公園	北海道	1971	2000		野辺山SLランド	長野県	1986	2018	
ウルトラマンランド	熊本県	1996	2013		サニーランド蛇の島	岩手県	1967	1970	再園	野呂山遊園地	広島県	1968	1974	1
エキスポランド	大阪府	1970	2009	13	さやま遊園地	大阪府	1938	2000	3	梅津寺公園	愛媛県	1935	2009	1
エンテアシア	愛媛県	1998	2001		志高ユートピア	大分県	1968	2003	4	八山遊園地	富山県	1929	1943	1
王子ファンシイランド	岡山県	1989	1995		ジャンクパーク遊園地	鹿児島県	1972	2005	1	PLランド	大阪府	1957	1989	15
青柳鉄道楽々園	東京都	1921			ジョーランド博覧会	群馬県	1975	1983	1	比呂山頂遊園地	東京都	1959	2000	5
大塚遊園地	愛知県			更地	新川市遊園地	群馬県	1953	1971		比呂山遊園地	埼玉県	1970		1
沖崎アイランドパーク	沖縄県	1990	1999	更地	関ヶ原メーランド	岐阜県	1972	2001	1	ひのくにランド	熊本県	1975	1996	1
沖崎エキスポ	福岡県	1975	2000		セキソフファミリーランド	岐阜県	1976	1999	1	平尾台丸和ランド	福岡県	1967	1	
奥摩耶遊園地	兵庫県	1955	3		千光山グリーンランド	広島県	1966	2007	更地・廃虚	ひろしまドッグパーク	広島県	2003	2005	
小田急花鳥山	静岡県	1970	1998	1	仙台ハイランド	宮城県	1981	2015	4	広島サテライト	広島県	1974	1996	
御殿場ファミリーランド	静岡県	1974	1999	1	千里山遊園地	大阪府	1921	1950	1	広島ニュージューランド村	広島県	1990	2008	4
オタモイ遊園地	北海道	1936	1952		大川山遊園地	富山県	1958	1997	1	びわ湖タワー	滋賀県	1965	2001	1
小山ゆうえんち	栃木県	1960	2005	5	太平洋スライランド	北海道	1969	2002	5	びわ湖パラダイス	滋賀県	1966	1998	12
笹原園レイクランド	茨城県	1968	1982	3	高沼沼グリーンランド	福島県	1973	1999	更地	ファンタジードーム	北海道	1990	1997	
加賀百万石時代村	石川県	1996	2006	5	宝塚ファミリーランド	兵庫県	1911	2003	125	フェスティバルゲート	大阪府	1997	2007	1
花月園遊園地	神奈川県	1914	1946	13	多摩公園	東京都	1925	1979	13	フォルテ西条	愛媛県	1997	1999	
賀島スポーツランド	東京都	1970	1999	3	多摩テック	東京都	1961	2009		藤井寺教村園	大阪府	1929	1933	2
高崎フェアリーランド	群馬県	1951	2003	3	鶴見園	大分県	1925	1943	123	富士ガリバー王国	山梨県	1997	2001	15

所という結果が出た（図1）。結果から関西地方・中部地方・関東地方で全体の半分を占めていることが分かる。

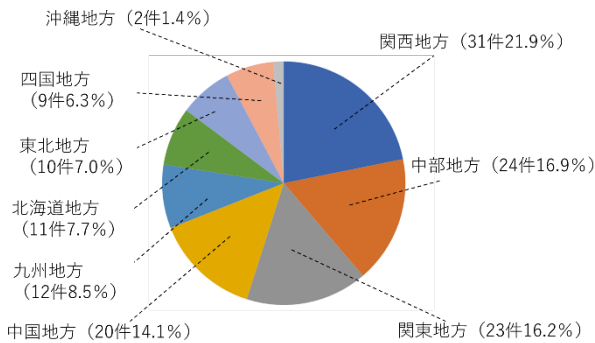


図1 地方と跡地の関係

3-2 GISを用いた分析

3-2-1 跡地とその活用の分布

GISに座標データと活用分類のデータを打ち込み、マップに落とし込んだ。

3-2-1-1 日本全体の利用方法の分布

全体としての分布を測るために5分類全体を表示させた。（利用活用が複数ある事例は数が少ない分類を優先して表示するものとする）ここから閉園数が多かった関西地方・中部地方・関東地方に着目すると、関西地方は大阪府周辺に密集しており（図2のマップ2）、中部地方はある程度距離を開けて跡地が密集していることが分かる（図2のマップ3）、関東地方はまんべんなく跡地が分散していることが分かる。（図2のマップ4）

3-2-1-2 分類ごとの分布

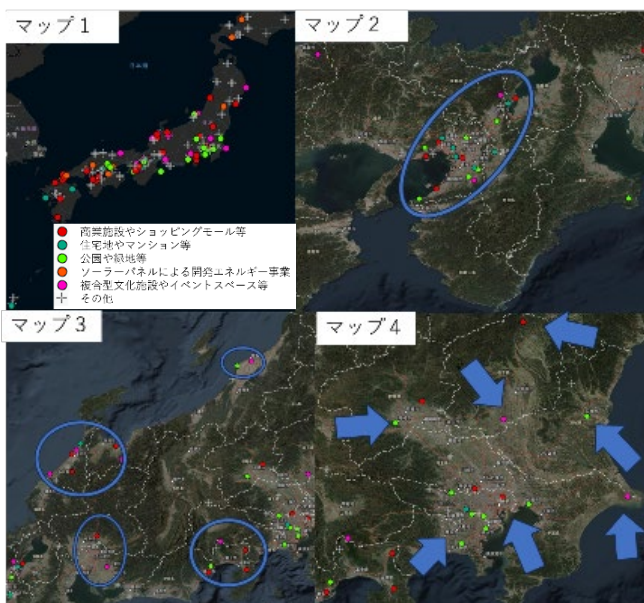


図2 利用事例の分布

分類ごとに分けてGISで表示させ分布の検討を行った。その結果、分類3公園や緑地への再利用は東京や大阪近辺でも行われていることが分かる。（図3のマップ5）反対に分類4ソーラーパネルによる再開エネルギー需要には関西地方・中部地方・関東地方にはなく都心部で活発には取り入れられていないことが分かる。（図3のマップ6）

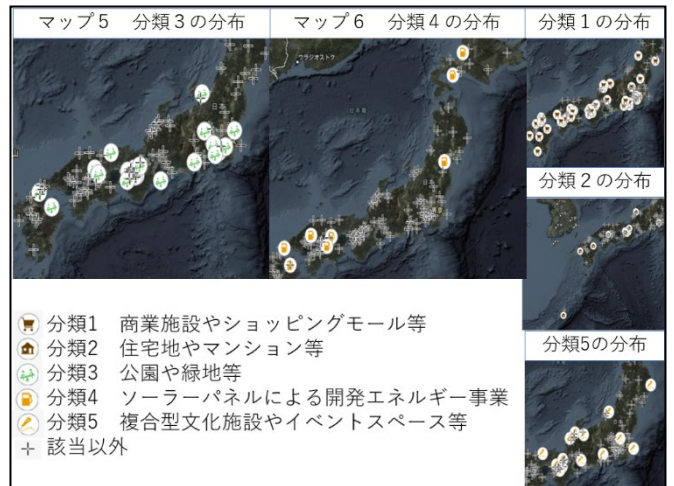


図3 分類ごとの位置のまとめ

3-2-2 衛星画像と道路交通網からの立地分析

3-2-2-1 研究方法

GISを用いて、上空写真を計測し海岸・河川・湖沿い、平地・盆地・台地、山地内部・周辺を調べた。また1:24000の尺度で交通網を観察し一般国道から近い、高速道路から近い5項目を調べ該当する割合を調べた。平均は各利用方法で出た割合を足して割ったものとする。10%以上の差が出たものを傾向とする。

3-2-2-2 衛星写真と道路網による立地分析

分類1商業施設やショッピングモール等に利用された事例は「一般国道から近い」「海岸・河川・湖沿い」の割合が平均より高く、「山地内部・周辺」の割合が平均より低いことが分かる。（図4のグラフ1）分類2住宅地やマンション等に利用された事例は「平地・盆地・台地」「一般国道から近い」の割合が平均より高く、「山地内部・周辺」の割合が平均より少ないことが分かる。（図4のグラフ2）分類3公園や緑地等に利用された事例は「高速道路から近い」の割合が平均より高いことが分かる。（図4のグラフ3）分類4ソーラーパネルによる開発エネルギー事業に利用された事例は「山地内部・周辺」の割合が平均より高く、「海岸・河川・

湖沿い」「平地・盆地・台地」「一般国道から近い」の割合が平均より低いことが分かる。(図4のグラフ4) 分類5複合型文化施設やイベントスペース等に利用された事例は「高速道路から近い」の割合が低いことが分かる。(図4のグラフ5)

グモール等」「住宅地やマンション等」が利用されにくいことが分かった。

4. まとめ

跡地の利用方法の種類は大きく分けて五つに分類でき、「商業施設やショッピングモール等」、「住宅地やマンション等」、「公園や緑地等」、「ソーラーパネルによる開発エネルギー事業」、「複合型文化施設やイベントスペース等」と分けられた。

立地後ごとの利用されやすい・利用されにくい跡地利用の方法は、一般国道から近い場合「商業施設やショッピングモール等」「住宅地やマンション等」「公園や緑地等」が利用されやすく、「ソーラーパネルによる開発エネルギー事業」が利用されにくい。高速道路から近い場合「複合型文化施設やイベントスペース等」が利用されにくい。海岸・河川・湖沿いの場合「商業施設やショッピングモール等」が利用されやすく、「ソーラーパネルによる開発エネルギー事業」が利用されにくい。平地・盆地・台地の場合「住宅地やマンション等」が利用されやすく、「ソーラーパネルによる開発エネルギー事業」が利用されにくい。山地周辺・内部の場合「ソーラーパネルによる開発エネルギー事業」が利用されやすく、「商業施設やショッピン

参考文献

- 1) 井手信雄：テーマパークの定義，日本観光学会誌，第42号，2003年6月
- 2) ウィキペディア，フリー百貨辞典，Category:日本の遊園地（閉園），(更新 2021-04-14)
[https://ja.wikipedia.org/wiki/Category:%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%AE%E9%81%8A%E5%9C%92%E5%9C%B0_\(%E9%96%89%E5%9C%92\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/Category:%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%AE%E9%81%8A%E5%9C%92%E5%9C%B0_(%E9%96%89%E5%9C%92)) ,(参照 2023-09-19)
- 3) 川崎泰之：鉄道沿線まちづくりに関する研究～遊園地の跡地利用計画について～，日本建築学会大会学術講演梗概集（北海道），2013年8月
- 4) 瀬川明日奈、中島直人、黒瀬武史：国内の閉園した遊園地・レジャー施設の跡地利用に関する研究－既存施設を再活用した事例の閉園前後のプロセスと利用者の変化の比較検証－，日本建築学会大会学術講演梗概集（九州），2016年8月
- 5) 加藤誠士：運営機関別にみる閉園遊園地の土地利用転換に関する研究，2019年
- 6) 川崎泰之：鉄道会社が経営する郊外遊園地の跡地に関する研究，公益社団法人日本都市計画学会，都市計画論文集，Vol.49，No.3，2014年10月

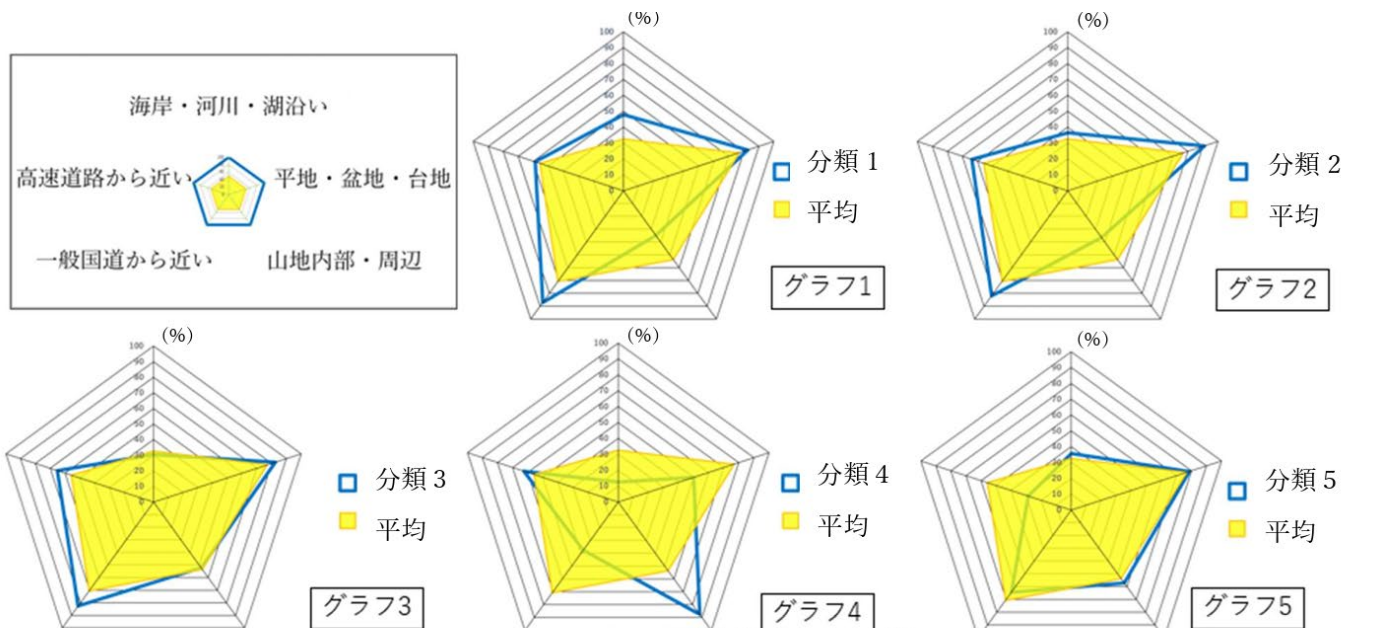


図4 分類ごとに出した立地

鉄道廃線跡を活かしたまちづくりへのプロセスに関する研究
～旧桃花台線を中心に～

EC20075 光法 快

1. 研究の背景と目的

近年、全国的に少子高齢化、地方の人口流出が進んでいる。15～64歳の生産年齢人口は2020年には59.5%。高齢化率は28.6%である。これが2070年にはそれぞれ生産年齢人口が52.1%、高齢化率が38.7%となり、将来的にもこれらは加速していくと考えられている。同時に、過疎地域の人口割合の人口割合も1970年には18.4%だったものが2020年には9.3%と50年の間に半減していて、長い目で見てみても確実に都市圏への人口流出が進んでいる事が分かる。その結果、鉄道を取り巻く環境がより悪化し、2022年には、全95社中85社と約89%の事業者が鉄道事業の経常収支ベースで赤字を計上するに至っている¹⁾。2019年には、同じような事業者が95社中74社で約78%となっている。そこで、これらの減少に伴い、全国の地方に現存する路線が廃線にある可能性も考えられる。

その際に、今回取り上げる旧桃花台線のように、廃線決定後にそのまま路線や駅舎、高架橋などが撤去されないまま残り廃墟のようになってしまふ場所が出てくることも予想され、地域の治安や景観に悪影響を与えてしまう。それらを防ぐためにも、廃線後の速やかな撤退、もしくは再利用出来るような廃線→活用の方法をどのようなプロセスで行うべきか。そしてそれらをどのようにして活かしていくべきか。以上の問題関心により本研究では、旧桃花台線では何が理由で現状が生まれってしまったかを明らかにしつつ、その他の廃線になった駅舎や路線を再利用している団体や市町村に調査を行い廃線に対する交通整備の考察を行うことを目的とする。

2. 研究の枠組み

2-1 研究対象の概要

研究対象地は、愛知県小牧市の東部地域に位置す

る旧桃花台線跡地（駅舎と高架橋）。（図1に示す。）1991年3月25日に開業した旧桃花台線は、日本の人口が増加の一途を辿っていた中計画された桃花台ニュータウンの住民の足として出来た路線であり、ピーチライナーという名前でも親しまれた。計画ではJR高蔵寺駅まで延伸する予定で、一部区間は用地確保がされていた。しかし、利用者数が想定を大きく下回り赤字続きとなり多額の負債を抱えていたことと、延伸には県の試算で約1000億円と多額の費用がかかることから、計画は凍結された。平成時代に開通した鉄道路線で唯一の廃止路線である。廃線が決定したが、撤去するのに多額の費用が掛かると言われていること、総延長も7kmを超える長さがあること、旧桃花台線が住宅街にあることが重なり、廃線から15年以上経った今でも解体工事が終了していない。



図 2-1 旧桃花台線路線図

（出典：地図の散歩道:19年で地形図から消えた鉄道 (jmc.or.jp)）

そして、ヒアリング調査対象地として岐阜県大野町にある「黒野駅レールパーク」。豊田市西中金町にある「西中金ふれあいステーション」。飛騨市神岡町にある「レールマウンテンバイク Gattan Go!」とする。

黒野駅レールパークは、岐阜県揖斐郡大野町に位置する1926年～2001年に営業していた名鉄谷汲線、1926年～2005年に営業していた名鉄揖斐線のターミナル駅であった黒野駅が廃線となり、その後駅の跡地が整備され地域の新たな交流拠点として営業している。



図 2-2 黒野駅レールパークの場所

西中金ふれあいステーションは、豊田市中金町に位置し、1928年～2004年に営業していた名鉄三河線の西中金駅が廃駅になった11年後に新たに地域の交流の場、週末営業のカフェとして営業している。2007年には有形文化財にも登録されており、駅舎の中には当時利用されていた旅客運賃表が残り構造もそのまま残されているのでレトロな空間でカフェを楽しむことが出来る。



図 2-3 西中金ふれあいステーションの場所

レールマウンテン GattanGo! は、飛騨市神岡町に位置し、2006年に廃線になった旧神岡鉄道の廃線路の上を自転車で走ることができるアクティビティ。コースは神岡町内を走る往復6kmのまちなかコースと、2018年にオープンし漆山の大自然を楽しむことが出来る溪谷コースの二つがある。



図 2-4 町中コース



図 2-5 溪谷コース

2-2 調査方法

本研究では、これから全国で生まれてくるであろう廃線跡を放置させずまちづくりに活かし再利用するため、廃線事例のプロセスとその後の運営方法を明らかにする。そこで2-1で挙げた廃線路や駅舎を再利用している団体にヒアリング調査を行った。

その後、廃線路周辺住民の方がその廃線路に対してどのような考えや気持ちを持っているかを明らかにするために、旧桃花台線沿線に住民にアンケート調査を行った。こちらは、google フォームを作成しQRコードを読み込んでもらい回答してもらう。

3. 旧桃花台線廃線後の歴史

廃線前の2005年に行われた桃花台線のあり方検討会²⁾では、「現行システムでの継続は不可能」「導入可能な新システムを検討模索する」「新システム導入が困難となった場合は存続は難しい」とあり、「18年度中頃には資金が枯渇する」とまで記載されている。2011年の愛知県包括外部監査結果報告³⁾では、旧車両基地のみ利活用。「地域住民のための活用を第1に～」と記載されていることから、当時は再利用する動きがあったことが予想できる。

4. 県と市に対するヒアリング調査

廃線路を再利用している団体にヒアリング調査を行う前に、旧桃花台線の位置する小牧市の都市政策部と、駅舎や高架橋の持ち主である愛知県の交通対策課にヒアリング調査を依頼したが、小牧市の方からは質問の大半は具体的に答えられない。答えることが出来ない、というふうに言われた。県の方からは、ヒアリング調査は断られ文面で簡素に回答を頂いた。内容としては概ね、旧桃花台線全線を撤去する方針であること。当時の議事録はないこと。市民の声を把握していないことを確認した。

5. 廃線事例のプロセスとその後の運営の調査

5-1 廃線路に関わっている団体への調査

黒野駅レールパーク、西中金ふれあいステーション、レールマウンテン GattanGo! へ施設が出来るまでの過程やどのように運営しているかなどヒアリング調査を行った。

表 5-1 ヒアリング調査概要

調査日	11月9日	11月18日	12月19日
調査対象	特定非営利法人くろの代表 山田宏志さん	西中金愛護会 松井靖さん 鈴木昭彦さん 鈴木昇さん	NPO法人 神岡・町づくりネットワーク 田口 由加子さん
ヒアリング内容	・オープンするまでの経緯 ・どのように仲間を集めたか ・後継問題 ・お金、施設の管理 ・周辺住民にとってどのような場になっているか ・行政との関わり		

ヒアリング調査の結果、黒野駅レールパークと西中金ふれあいステーションのような主に地域の憩いの場、交流の場としての役割を担う場所。レールマウンテン GattanGo! のように観光スポットとしての役割を担う場所の2箇所に分類される。

これら二つに共通している点は三つある。一つ目は廃線になってしまう駅舎や路線へ愛情を持つ人がいる点であり、このような人がいると再利用へ向かいやすい。二つ目は行政や市民団体が積極的な動き出しを見せている点であり、どちらかがこのような動きを見せることによって施設や新たな団体が生まれ廃線路の活用に至っている。三つ目は後継問題。どの場所も運営団体の高齢化が問題となっており、若い人の参入が急務となっている。

相違点としては行政との関わりと周辺住民との関わりである。前者の、地域の憩いの場、交流の場となっている場所は行政との深い関わりがあり団体と協力し合い施設の運営を行っている。しかし後者の観光スポットとなると、最初から収益化を考えていたことや、鉄道路線のためという意向があったことから行政周辺住民関わりは比較的少なくなっている。前者は住民にとって憩いの場となっており愛されていることが運営者や行政からの話から分かるが、後者の方は関わりといったものはほぼ無い現状があった。

5-2 当該地域の市町村への調査

表 5-2 市町村へのヒアリング調査概要

調査日	12月19日	12月6日
調査対象	大野町 まちづくり推進化	猿投支所 井沢さん
ヒアリング内容	・指定管理にした理由 ・どのような役割を担っているか ・苦勞している点	

指定管理の理由としては、市が持ってしまうと上に申請する過程で様々な段階を踏まなくてはならず時間が掛かってしまうが、指定管理だと段階が少なく、ほぼお金を渡すだけで良く比較的簡単に運営をすることができる。役割としては、地域住民の交流の場として活性化に貢献してもらっていて周辺の方達の憩いの場になっている他、県外からのお客さんもいるので、知名度向上にも貢献してもらっていて本当にありがたいと仰っていた。

苦勞している点としては、高齢化問題の他、予算を取るのが難しく人気があるからこそ万が一予算が止まって閉業になった時の影響が大きいことが懸念されている。

市町村の方々から、「頭が上がらない」「とても感謝している」といった事を耳にしたことから行政からもその施設を一緒に守っていきたいという気持ち、団体の方々へのリスペクトの気持ちが窺えた。

5-3 旧桃花台線周辺住民による跡地に対するアンケート調査

旧桃花台線沿線に住んでいる方に Google フォームにてアンケートを作成し QR コードを配布した。

表 5-3 ポスティング調査概要

調査日	12月23日～12月31日	
調査方法	ポスティング調査	
対象場所	小牧原駅周辺	桃花台ニュータウン周辺
対象者	小牧原駅周辺住民	桃花台ニュータウン周辺住民
回答数	4	44

表 5-4 アンケート項目

- ・性別 ・年齢 ・居住歴 ・住まい ・旧桃花台線の構造物の今後のあり方に関心があるか
- ・桃花台線が走っていたことを知っているか ・構造物すべての取り壊しが決まっていることを知っているか
- ・構造物を一部でも残したいか ・取り壊しに賛成か
- ・構造物の撤去もしくは再利用する動きを行政から感じられたか
- ・構造物の撤去もしくは再利用する動きについて説明があったか
- ・近くに憩いの場、交流の場はあるか
- ・観光地として紹介できる場所はあるか
- ・あるとすればどこか
- ・もし再利用するならどのような場所を期待するか
- ・もし旧桃花台線を残す場合それらのイベント等の運営などに協力したいか

アンケートの概要・項目は表 5-3、5-4 に示す。以下、アンケート調査結果の一部をまとめた。

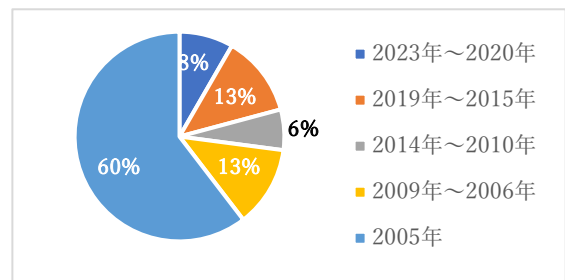


図 5-1 居住者の居住歴

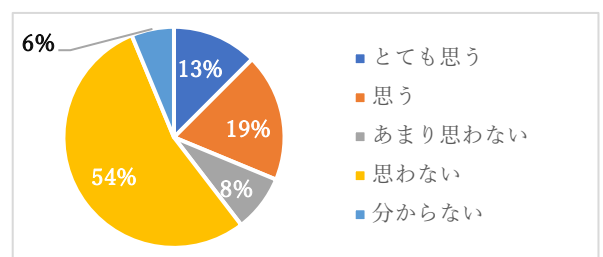


図 5-2 構造物を残したいと思うか

図5-2から構造物を残したいと思う人が全体の1/3に留まり、2005年（桃花台線廃線）以前から住んでいる方29名（図5-1より）の内、構造物を残したいという方は9名に留まった。

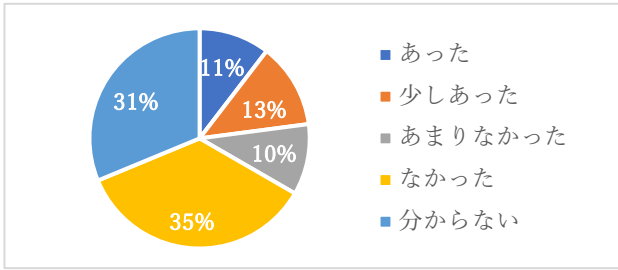


図5-3 行政から撤去もしくは再利用の説明はありましたか

図5-3から少なくとも行政からの動き及び説明が十分に行われていなかったことが分かる。「あった」もしくは「少しあった」と答えた11人の内8名が2009年以前から住んでいる人であった。

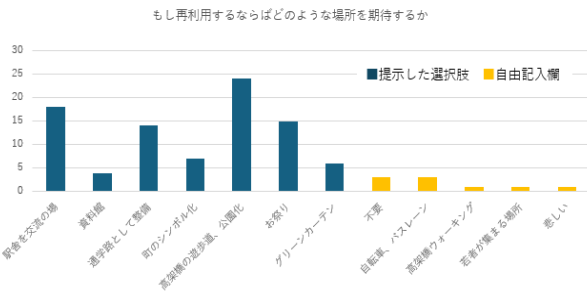


図5-4 再利用するとしたらどのような場所を期待するか

図5-4から、高架橋の遊歩道もしくは公園化が一番多く、次いで駅舎を交流の場として利用する項目が多い一方、自由記載欄には不要という声もいくつか見受けられた。

6. 考察

図5-1、図5-2から周辺住民や実際にピーチライナーが走っている姿を見たであろう人であっても旧桃花台線に対して愛情や思い入れがあるとは言いきれないことが分かる。その他、住民から見たとき行政からの動きを感じる事が出来なかった。説明がなかった。もしくは分からないと答えた人が多いことから、行政の動きが鈍いことが分かる。実際にヒアリング調査を行った場所は行政からの動き出し、又は住民の団体が動き出して始まっているので、住民を巻き込むことが最重要と言える。

7. 結論

今後、廃線路になってしまう場所が出来たときに最低限必要な物が二つあると考える。一つ目は、未来予測である。旧桃花台線は、2005年に開催された「桃花台線のあり方検討会」では「現状のままでは、平成18年度にも運営資金が枯渇するものと見込まれる。」²⁾（原文ママ）と記載されている。また、廃線後の動向として、ポスティング調査の結果や、過去のタウンミーティングに「ようやく県が（中略）取り壊しを～」⁴⁾とあるように、行政の方があまり積極的に動いていなかったことが窺える。これらから未来予測をしていないことが分かる。しかし、廃線路を活用している団体は、廃線前から動きを見せている団体があった。これらが活用のための潤滑剤となり廃線路の終わりに向けて滞りなく進めることが出来る。

そして二つ目が廃線路、町に対する熱を持った人である。ヒアリング調査でお話を伺った三箇所すべてにその廃線路や町に対して熱や愛情を持つ人がいた。旧桃花台線沿線住民へのアンケートでも少なからず廃線路に対して残したいと思う人がいるように、どの廃線にも熱や愛情を持つ人がいると考えられる。そして、行政がそのような人を見つけ、他の住民と繋げる。そうすれば熱が周りに伝達していき廃線路の終わりに向けてスムーズに進めることが出来る。そしてそのような人たちが主体となって動きやすくするためにも市民から見て分かるように動き、熱が広がっていくようにする事も重要だと考える。どのような段階を踏むにしろ、廃線後のプロセスにはこの二つの要素が必要であり、それがないと廃線路は負の遺産として残り続けてしまう。

参考文献

- 1) 国土交通省：地域鉄道対策（参照 2023-12-03）
https://www.mlit.go.jp/tetudo/tetudo_tk5_000002.html
- 2) 愛知県：桃花台線のあり方に関する提言,2005年3月（参照：2023-10-01） 2638.pdf (pref.aichi.jp)
- 3) 愛知県：平成22年度愛知県包括外部監査結果報告書,2011年1月（参照：2023-10-01） 20220.pdf (pref.aichi.jp)
- 4) 小牧市：市政報告とまちづくり懇談会(参照:2023-12-30)04_ag.pdf (city.komaki.aichi.jp)

“東海オンエア”が岡崎市のまちづくりにもたらす効果に関する研究

EC20076 宮川昂己

1. 研究の背景と目的

本研究では YouTuber の中でも人気のある岡崎市で活動している東海オンエアに着目をする。東海オンエアは他の YouTuber と違って聖地が多く感じ、人気もあるため聖地巡礼をする人達が多くいる。東海オンエアが投稿を始めた最初は人気がないため聖地巡礼をする人が少ない。月日が過ぎることで人気が出てきて聖地巡礼をする人たちが多くなってきている。そのため、岡崎市はまちを良くすることを考えると考えられる。そのため、岡崎が東海オンエアの聖地巡礼のためにどのようなまちづくりをしているのかを見してみる。また、東明オンエアが有名になっていくことで岡崎市にどのような効果があったのかを見してみる。

また、東海オンエアは岡崎で活動して10年が経ち、その10年間で数多な聖地が生まれてきた。その聖地に着目して研究を進めてきた。動画に出て来たところやメンバーのマンホールやパネルなどが置いてあるところを聖地としファンは聖地巡礼を行う。聖地巡礼は、車と公共交通機関では聖地巡礼のしやすさなどが異なってくる。距離が離れている聖地があるため、車で移動した方が聖地巡礼をしやすいと思われる。車で聖地巡礼をする人と公共交通機関を使う人では、聖地巡礼のしやすさなど、思うことは違ってくる。そのため、本研究では岡崎市がどのようなまちづくりをしているのか、聖地巡礼者はどのようなことを思っているのか、また聖地が聖地となることでの良い点悪い点や街の変化などの評価を明らかにすることを目的とする。

2. 研究の枠組み

2-1 研究対象の概要

研究対象地は愛知県岡崎市とする。岡崎市は愛知県の中央部にあり、名古屋市から約 35 km の距離に位置する。岡崎市の市域は東西 29.1 km、南北 20.2

km、面積 387.20 km²あり、県内3番目の規模を持っている。東西に東京から大阪を繋ぐ、国道1号が横断し、南北には蒲郡市から岐阜市を繋ぐ国道248号線と、蒲郡市から静岡県牧之原市を繋ぐ国道473号線が縦貫している。この岡崎市では、東海オンエアという YouTuber が活動している。

東海オンエアとは、愛知県岡崎市に拠点を置き、6人組で活動する YouTube クリエーターである。個性溢れるネタ動画を中心に様々なジャンルの動画を投稿し、人気を集めている。2013年に動画投稿を始め、今ではチャンネル



写真1 東海オンエア

登録者数は701万人、総再生回数は13億回である。2023年10月には10周年を迎え、より一層注目を集めている。2016年には、岡崎市観光伝道師に任命されている。任命されてから、変化が大きかったのは、客層である。岡崎市はこれまで、武将や歴史観光でPRしていたため、年配の方が多かったが、東海オンエアが岡崎市観光伝道師に任命され、有名になっていく事で、若い世代の来訪が多くなっている。岡崎市には東海オンエアの

表1 主な聖地

聖地があり、ファンは聖地を巡る聖地巡礼ということをする。聖地とはもともと神や仏、聖人などに関係がある神聖な土地という意味だったが、最近では、アニメやマンガ、YouTube の作品の舞台となった場所、キャラクターや漫画家本人の所縁のある場所を「聖地」と呼ぶようになった。そして、それらを巡ることを聖地巡礼と呼ぶようになった。

東海オンエアの主な聖地
・まんぷく家
・R COFFEE STAND
・キブン、デ、、サチオ
・暴れん坊チキン
・イオンモール岡崎
・さくらこ。
・シビコ
・マンホールが置いてある場所
・岡崎公園

図1から分かることとして、東岡崎駅周辺に聖地が集まっているため、聖地巡礼がしやすいように見える。しかし、離れている聖地が数か所あることが分かる。この離れている聖地があることで聖地巡礼がしにくくなる1つの要因であると考えられる。

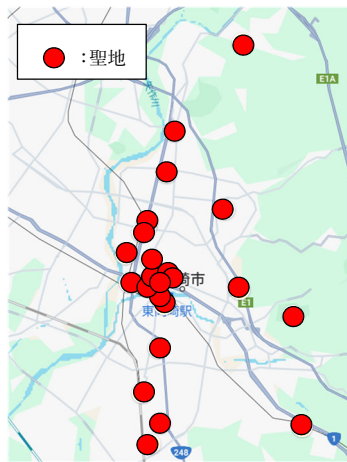


図1 岡崎市西部、聖地の場所

聖地巡礼者アンケートの概要・項目は表2,3に示す。以下、アンケート結果をまとめた。

表4 移動手段

車(54.7%)	64
レンタル自転車(29.9%)	35
自分の自転車(1.7%)	2
電車(48.7%)	57
徒歩(40.2%)	47

図2に示す聖地巡礼のしやすさとして、しやすい、ややしやすいという回答が半分を占めている。

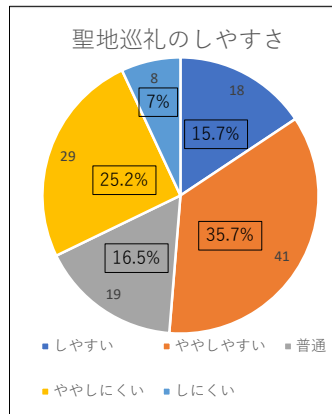


図2 聖地巡礼のしやすさ しにくい、ややしにくいと答えた人が32.2%だった。表4から、電車で移動している人が、全員選んだとは思われない。そのため、車で来た人で、しにくい、ややしにくいを選び、電車で来た人で、しやすい、ややしやすいを選んだ人がいると考えられる。

表5 聖地巡礼のしやすさの内訳

	しやすい、ややしやすい	しにくい、ややしにくい
車	30	11
電車・自転車・徒歩	29	26

表5に示す聖地巡礼のしやすさの内訳としてしやすい、ややしやすいと選択した人は、車とそれ以外では同じ回答数であった。しにくい、ややしにくいと思っている人は、電車、自転車、徒歩の方が倍以上多い。

2-2 調査方法

岡崎市役所経済振興部観光推進課と聖地へのヒアリング調査、東海オンエアの聖地巡礼をしたことがある人へのアンケート調査を行う。岡崎市のまちづくり、聖地巡礼について、聖地が聖地になることでの影響の意識・評価を明らかにする。東海オンエアの聖地巡礼をしたことがある人のアンケートはGoogleフォームで作成し、URLにて行ってもらう。

3. 調査

3-1 聖地巡礼者へのアンケート調査

東海オンエアの聖地巡礼をしたことがある人に対し、聖地巡礼や岡崎市のまちについての関するアンケート調査を行った。Googleフォームにてアンケートを作成し、Twitter(新X)を用いて、URLを拡散した。目的は、聖地巡礼のしやすさ、岡崎市のまちの魅力を聞き、岡崎市のまちづくりについて明らかにする。

表2 聖地巡礼者アンケート

調査日	12月28日~1月10日
調査方法	URL拡散によるアンケート調査
調査場所	Twitter(新X)
対象者	東海オンエアの聖地巡礼をしたことがある人
回答数	117

表3 聖地巡礼者アンケート項目

<ul style="list-style-type: none"> ・性別 ・年齢 ・住まい ・職業 ・どこの聖地に行ったことがあるのか ・聖地に行った理由 ・何度も行く聖地 ・何度も行く理由 ・交通手段 ・移動のしやすさ ・しやすさの理由 ・岡崎に何回来たことがあるのか ・初めて来た人に、来る前と来た後のイメージの変化 ・2回以上来た人に、岡崎の街の街の変化 ・聖地巡礼以外に観光目的で岡崎市内によく行くところ ・岡崎の街の魅力を上げるアイデアはあるか ・あった場合、その案
--

表6に示す聖地

表6 しやすい、ややしやすい

巡礼のしやすい、ややしやすい理由として「時間がかからない」「お金がかからない」「聖地と聖地の距離が近い」という回答が多かった。「電動自転車が借りられる」という回答があるので、電車や徒歩で移動する人でも聖地巡礼がしやすい、ややしやすいと回答した人がいると考えられる。

時間がかからない	20
お金がかからない	23
遠い聖地に行きやすい	4
聖地と聖地の距離が近い	40
車道が整備されている	12
歩道が整備されている	12
公共交通が整備されている	12
渋滞が少ない	4
駐車場が多い	7
電動自転車が借りれる	1

表7に示す聖地巡礼がしにくい、ややしにくい理由として、表6とは反対に「時間がかかる」「遠い聖地に行きにくい」「聖地と聖地の距離が遠い」という回答が多かった。これは、公共交通機関を使っている人の解答が多いと考えられる。

表7 しにくい、ややしにくい理由

時間がかかる	23
お金がかかる	7
遠い聖地に行きにくい	22
聖地と聖地の距離が遠い	20
車道が整備されていない	0
歩道が整備されていない	1
公共交通が整備されていない	9
渋滞が多い	9
駐車場が少ない	7
駐車場が有料	1
自転車は疲れる	1

「駐車場が有料」と回答した人は、車で移動している人でも聖地巡礼がしにくいと思う人がいるということだと考えられる。

表8 行ったことのある聖地

まんぶく家	97
R COFFEE STAND	86
キブン、デ、、サチオ	63
暴れん坊チキン	100
イオンモール岡崎	86
壁画	93
藤川宿	51
龍北総合運動場	47
東公園	59
出会いの杜公園	50
南公園	67
籠田公園	78
奥殿陣屋	30
岡崎公園	101
早川公園	60

表9 何度も行く聖地

まんぶく家	54
R COFFEE STAND	50
キブン、デ、、サチオ	46
暴れん坊チキン	75
イオンモール岡崎	39
壁画	23
藤川宿	15
龍北総合運動場	4
東公園	13
出会いの杜公園	5
南公園	22
籠田公園	26
奥殿陣屋	6
岡崎公園	49
早川公園	12

表8、9に示す行ったことのある聖地、何度も行く聖地として、東岡崎駅から近いまんぶく家、暴れん坊チキン、RCOFFESTAND、壁画、岡崎公園に行った人が多く、何度も行く人が多い。反対に、駅から遠い藤川宿、龍北総合運動場、東公園、奥殿陣屋に行く人が少なく、何度も行く人が少ない。

表10に示す岡崎市の魅力を

表10 アイディア

上げるアイディアとして、持っているという回答が24件、全体の22%あった。回答で出てきた案では、

ある(22%)	24
ない(78%)	85

- ・田舎であるゆえに難しいと思うが、バス等の公共交通サービスを充実させれば周りやすくなると思います。車が無いと回りづらい。

- ・渋滞が多いのが問題点。街中を移動しやすくすれば、多くの場所や建物に行きやすくなり、より岡崎の魅力を感じてもらえると思う。
 - ・実際に来月から移住するのですが、東岡崎駅周辺に夜遅くまでしているスーパーがないのが不便。観光で行っていた時もスーパー無さすぎで困りました。
- などの回答が出た。多くの意見が、交通サービスの改善であった。

3-2 岡崎市観光推進課へのヒアリング調査

岡崎市経済振興部観光推進課へ東海オンエアがもたらしているまちづくりに関するヒアリング調査を行った。目的は岡崎市がこれまでに東海オンエアが関係するまちづくりの取り組み、市が考える問題を明らかにする。ヒアリング詳細は表11に示す。

表11 岡崎市役所ヒアリング調査概要

調査日	12月14日
調査対象	岡崎市役所観光推進課 山本さん
ヒアリング内容	<ul style="list-style-type: none"> ・聖地巡礼について意識していること ・聖地巡礼者が増えていく事への問題点 ・問題点の解決策

聖地巡礼で意識していることについては、岡崎市の主要な観光地が点在しているため、徒歩で移動するには遠いことが多いため、移動手段としてサイクルシェアを導入した。聖地巡礼者が増えていく事で発生する問題点として、ゴミのポイ捨てや交通マナーを遵守せずに写真撮影を行うといった行為の苦情が出てきている。しかし、このようなマナー違反による各種問題の発生は東海オンエアファンに限ったものではないと捉えている。この問題点の解決策として岡崎市が取り組んでいることとして、観光公式サイトでの注意喚起を行っている。

3-3 聖地へのヒアリング調査

東海オンエアの聖地へ聖地になることでの、東海オンエアの影響力に関するヒアリング調査を行った。目的は、聖地が東海オンエアの影響力でどのように変わったのかを明らかにする。「南公園」「東公園」「暴れん坊チキン」「奥殿陣屋」「さくらこ。」「藤川宿」の6カ所の聖地に電話によるヒアリング調査を行った。ヒアリング詳細は表12、13に示す。

表 12 聖地ヒアリング調査概要 1

調査日	12月20日	12月27日	12月20日
調査対象	南公園 川淵さん	東公園 公園緑地課 城殿さん、林さん	暴れん坊チキン 射り口さん
調査日	12月26日	12月20日	12月26日
調査対象	奥殿陣屋 市川さん	さくらこ。 本間さん	藤川宿 山下さん

表 13 聖地ヒアリング調査概要 2

ヒアリング内容	<ul style="list-style-type: none"> ・聖地になって、良かった点悪かった点 ・聖地になって、周りの街の変化 ・聖地になって、店として変わったところ ・聖地になって、岡崎市が協力してくれたこと ・聖地になって、どのようなまちづくりをしてきたか
---------	---

全体的に似ている意見としては、良かった点として、全国から来てもらえる、若い客が増えた、お店・公園を知ってもらえるきっかけになったという東海オンエアならではの回答であった。悪かった点として、さくらこ。と東公園の2カ所から回答があった。さくらこ。さんからは、ご年配の方が集まる場所をコンセプトとしており、休みの日に若者が多く来店し、ご年配の方に若者の集まる場所と認知されなくなってしまう可能性があり、コミュニティがつくられていないと回答していただいた。東公園さんからは、岡崎市役所さんと似ていて、ごみのポイ捨てが増えたり、園内では自転車に乗ることは禁止されているが、自転車に乗る人が増えたといったマナー違反について回答をいただいた。場所によって、良い点もあれば問題点も出る。この問題点を無くすためには、どのようなことをすればいいのかを考察する必要がある。

4. まとめ

聖地巡礼者への調査で聖地巡礼のしやすさとしてしやすい、ややしやすいという回答が半分の割合を占めていた。しにくい、ややしにくいという回答は32.2%あった。聖地巡礼のしやすさでしやすい、しにくいと共通して言える理由は、お金、時間、聖地間の距離であった。聖地巡礼を車ですること、お金がかからない、時間がかからない、遠い聖地に行きやすいといった聖地巡礼が行いやすい理由が多くある。電車や徒歩、レンタル自転車で聖地巡礼をすると、お金がかかる。時間がかかる、遠い聖地に行きにくいといった、聖地巡礼がしにくい理由が多くある。しかし、車で行く人でもお金がかかる、時間がかかっている人もいた。それに反して、電車や徒歩、レンタル

自転車で聖地巡礼を行う人でもお金がかからない、時間がかからないと思っている人もいた。岡崎市の魅力をあげるアイデアでは、117人中24人の回答があった。アイデアの多くは「渋滞を無くす」「交通の便利さをアピールする」「サイクルシェアを増やす」など交通系の回答と「東海オンエア聖地巡礼用のシャトルバスを作る」「より東海オンエアを感じるものが増えて欲しい」「東海オンエアに関係したイベントを増やす」といった東海オンエアに関する回答があった。

岡崎市は以前まで歴史観光を進めていたため、ご年配の方が多く、若い層は少ない傾向にあった。しかし、聖地への調査で良い点として、全国から来てもらえる、若い客が増えた、お店・公園を知ってもらえるきっかけになったという回答が挙げられた。これは、東海オンエアの影響だと考える。問題点として、ごみのポイ捨て、マナー違反が出てきた。これも、東海オンエアの影響だと考える。

東海オンエアは2016年に岡崎市の岡崎観光伝道師に任命されていて、2023年で7年目となる。岡崎市観光伝道師に任命されることで、東海オンエアは誘客促進や知名度向上などまちづくりに大きな影響を与えてきた。そのため、今後も岡崎市が活性化するためや知名度向上するためには聖地であるお店、公園や、聖地巡礼者を大切にしていくことも必要である。そして、東海オンエアが岡崎市で活動し続ける限り、聖地が増えて、ファンも増えていくので、街が活性化していくことが見込める。

参考文献

- 1)愛知県岡崎市公式観光サイト岡崎お出かけナビ：“東海オンエア×岡崎市の取り組みに対する質問集”，一般社団法人 岡崎市観光協会, <https://okazaki-kanko.jp/news/5091>,(参照 2024-01-16).
- 2)URBAN LIFE METRO：“聖地巡礼の「聖地」とは何なのか？マンガ・アニメの都内シンポジウムでじっくり考える”，URBAN LIFE METRO,2019-12-10. <https://urbanlife.tokyo/post/25582/>,(参照 2024-01-02).

陶磁器産業地域における関連事業所の立地変容に関する研究
 ～2001 年から 2021 年における多治見市の製造業に着目して～

EC20077 三宅 駿介

1. 研究の背景と目的

我が国では地場産業地域の衰退が激しくなっている。地場産業は日本の伝統でもあり、時代とともに残していく、共存していく必要があると考える。本研究では、地場産業の中でも特に衰退の激しい陶磁器産業の美濃焼地域、岐阜県多治見市に着目する。日本三大陶磁器である美濃焼は約 1300 年の歴史を持ち、陶磁器の国内シェアの約半分を占めている。しかし、経営者や職人の高齢化、後継者不足、原料の不足などにより空き工場が増えてしまっている。また、美濃焼は他の有田焼や瀬戸焼に比べ、認知度が低い。美濃焼の関連事業所の今後の活用方法を考えていくことで、陶磁器産業地域の衰退を食い止め、新たな活用方法を見いだすことができると思う。

多治見市の 2001 年から 2021 年の陶磁器産業の事業所の立地動向と利用実態を調べ、どのような影響をもたらしているのかを明らかにする。そして、減少した事業所の今後の利活用方法について考察することを本研究の目的とする。

2. 研究の枠組み

2-1 対象地域

本研究では美濃焼の主要産地である岐阜県多治見市の陶磁器産業の事業所を研究対象とする。

2-2 研究方法

まず、事業所のデータを得るために 2001 年と 2011 年は冊子版のタウンページから取り出し、2021 年は i タウンページから取り出す。次にそれぞれの年の事業所が比較できるように Excel にまとめる。Excel でまとめた業種別のデータより、2001 年から 2011 年、2011 年から 2021 年の事業所の変化を調べる。GIS を使用するため、座標を google マップより取り出す。取り出した座標を使用し、事業所の場所を業種別や年代別などでわけて GIS に示す。GIS より、減少率が高く 1 つの地域にまとまっている高田町、

滝呂町、市之倉町の陶磁器製造に着目する。それぞれの地域のなくなった事業所を google マップに示し、現在の様子を現地調査する。現地調査の結果より、各事業所の立地、建築面積、接道状況、利用実態を調べ、新たな土地利用について考えていく。

3. 事業所の現状

3-1 業種別の分類

表 1 分類表

業種	種類
製造業	顔料・タイル・窯業原料・電気絶縁材料・ガラス加工・陶芸材料・ガラス工芸(ステンドグラス)・陶磁器上絵付・ガラス食器製造卸・陶磁器製型製版・ガラス製造卸・陶磁器製造・ガラス繊維・配管材料・ガラス容器製造卸・風呂釜浴槽・かわら・理化学機械器具・かわら(家庭用)・匣鉢(こうばち(窯道具))・れんが・白土ベントナイト・衛生設備陶器・築炉工事・酒具・電気炉・七宝焼・窯業機械・食器・手芸品・食器(業務用)工芸作家・石灰・陶芸家・セラミックス製品加工・耐火材料
卸売業	工芸品・陶磁器卸・民芸品・陶芸教室
小売業	陶工芸店・やきもの工芸店・陶磁器店

3-2 事業所の立地動向

陶磁器産業の製造業の事業所を google マップより座標を取り出し、GIS を使ってどのような傾向があるのかを調べた。

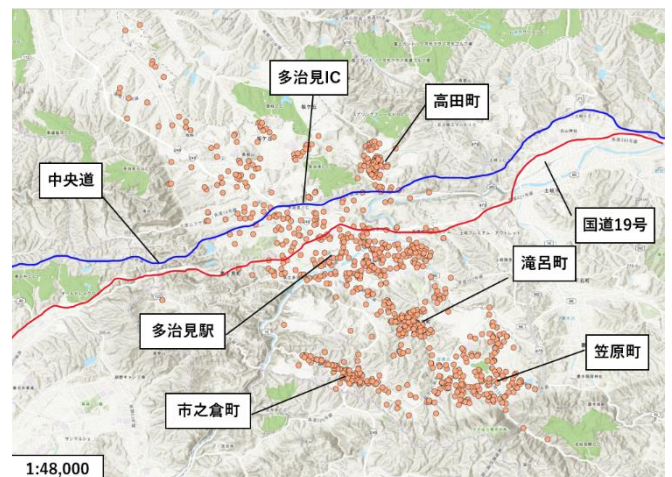


図 1 製造業の立地動向 (2001 年)

表2 製造業の事業所数の変化

		2001	2011	2021	2001~2011	2001~2021
製 造 業	陶磁器・陶磁器製品	995	523	370	47.4%	62.8%
	セラミック製品・加工	12	9	8	25.0%	33.3%
	タイル	431	236	163	45.2%	62.2%
	電気絶縁材料	0	0	0	0.0%	0.0%
	陶芸材料	27	13	9	51.9%	66.7%
	陶磁器上絵付	113	44	21	61.1%	81.4%
	陶磁器製型・製版	50	27	15	46.0%	70.0%
	陶磁器製造	329	182	114	44.7%	65.3%
	匣鉢	8	2	4	75.0%	50.0%
	陶芸家	17	10	9	41.2%	47.1%
その他	7	5	11	28.6%	-57.1%	
陶磁器以外の窯業製品		32	20	30	37.5%	6.3%
顔料・窯業原料		83	54	24	34.9%	71.1%
特殊産業用機械器具製造業		11	7	7	36.4%	36.4%
計		1121	604	431	46.1%	61.6%

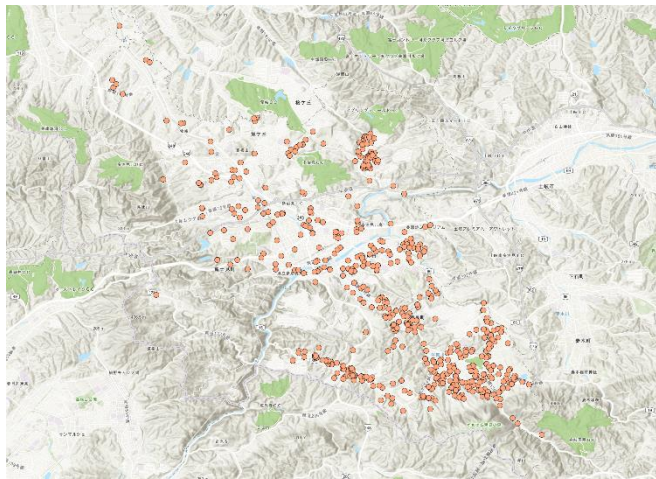


図2 製造業の立地動向 (2011年)

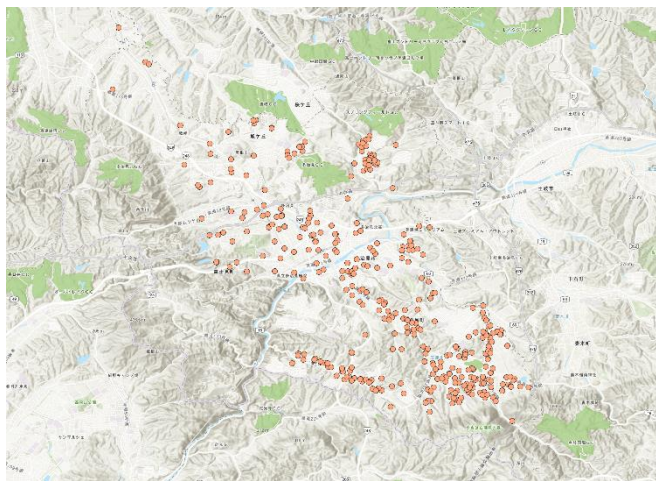


図3 製造業の立地動向 (2021年)

マップを見てみると、年を追うごとに明らかに事業所数が減少している事がわかった。また事業所が集中している地域がいくつかあることもわかった。

3-3 事業所の減少数と減少率

表2は製造業の業種別の事業所数と減少率を表したものである。

事業所数を見てみると、2001年はタイル、陶磁器製造、陶磁器上絵付、2011年はタイル、陶磁器製造、顔料・窯業原料、2021年はタイル、陶磁器製造、陶磁器以外の窯業製品の順で多い事がわかった。減少率を見てみると、2001年～2011年は匣鉢、陶磁器上絵付、陶芸材料、2001年～2021年は陶磁器上絵付、顔料・窯業原料、陶磁器製型・製版の順で高い事がわかった。

4. 現地調査

4-1 現地調査対象

現地調査は図4の高田町・滝呂町・市之倉町の減少した事業所を対象に行う。選定理由は、陶磁器製造の事業所が集中しており、その地域に与える影響が大きい為、研究の対象地として最適であると思ったからである。調査方法は、現地に行き、全ての事業所の写真を撮り、まとめることとする。

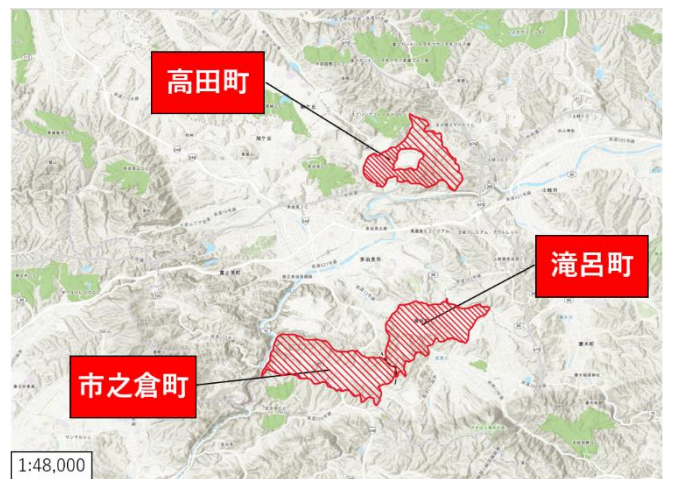


図4 現地調査対象地域

4-2 現地調査結果

調査結果からわかったことは、現状として新居や新たなものとして利用されている事業所が少なく、空き工場に関してはそのまま放置されている場所がほとんどであった。空き工房に関しては、そのまま住宅として利用されていることがわかった。また、タウンページでは表記されておらず、廃業扱いだった

た場所も、現地に行ってみると現在も営業している事業所が多くあった。

表3は各町の用途別の利用実態を表したものとなる。

写真1は、工房としては使っていないが、住居として使っている場合の例となる。

表3 無くなった事業所の用途別利用実態

	2001年			2011年		
	高田町	滝呂町	市之倉町	高田町	滝呂町	市之倉町
空き工場・工房	5	10	11	0	2	5
空き工・家	5	7	9	1	6	5
別の事業所	2	1	1	0	0	2
新居	5	2	2	0	0	1
不明	0	0	3	2	0	0
合計	17	20	26	3	8	13



写真1 空き工・家の例

5. 無くなった事業所の現状

5-1 無くなった事業所の立地

図5、6、7は各町の2001年～2021年の事業所の立地をGISで表したものになる。どの地域も事業所が密集しており、地域に与える影響が大きいことがわかる。また、現在残っている事業所よりも無くなってしまった事業所の方が多いたことがわかった。

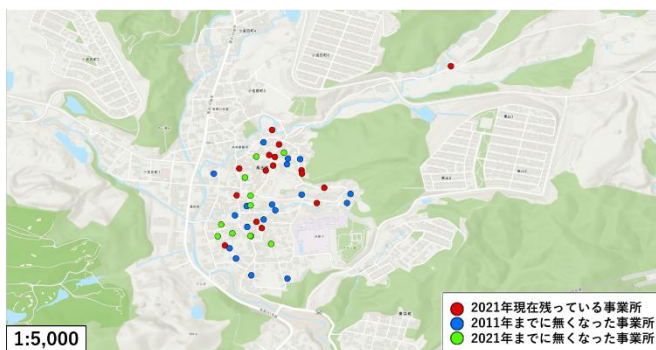


図5 高田町の陶磁器製造の事業所データ (2001年～2021年)

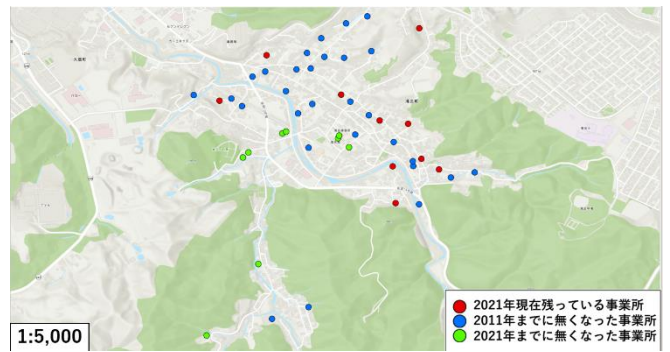


図6 滝呂町の陶磁器製造の事業所データ (2001年～2021年)

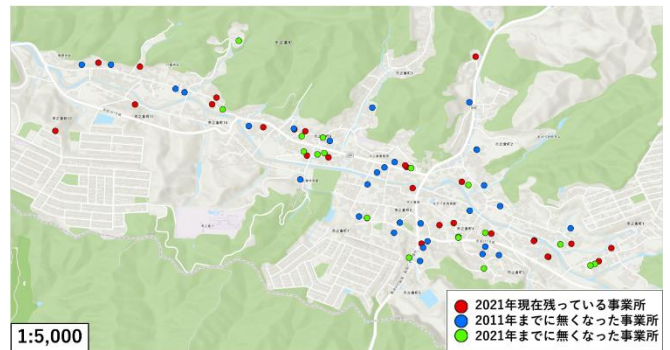


図7 市之倉町の陶磁器製造の事業所データ (2001年～2021年)

5-2 事業所の建築面積と接道状況

各町のなくなった事業所の現在の建築面積を表4に、接道状況を表5にまとめた。表4からは、無くなった事業所の半数以上は建築面積が200.0㎡以下で、大規模な工場は少ないことがわかった。表5からは、約7割程度は幅員が4.0m未満の道路と接しており、新たにその土地に建築物を建てるには、セットバックを用いて建てなければならないことがわかった。図8、9、10は各町のなくなった事業所の建築面積・接道状況・利用実態を色と図形でGISにあらわしたものである。

表4 減少した事業所の建築面積

建築面積 (㎡)	0.1~50.0 赤	50.1~100.0 橙	100.1~200.0 黄	200.1~300.0 緑	300.1~400.0 水	400.1~ 紺	不明 黒	合計
高田町	0	4	5	4	2	1	3	19
滝呂町	1	3	8	6	1	3	6	28
市之倉町	1	6	16	5	2	3	3	36
合計	2	13	29	15	5	7	12	83

表5 減少した事業所の接道状況

接道状況 (m)	0.1~3.9 ○	4.0~ □	合計
高田町	18	1	19
滝呂町	18	10	28
市之倉町	20	16	36
合計	56	27	83

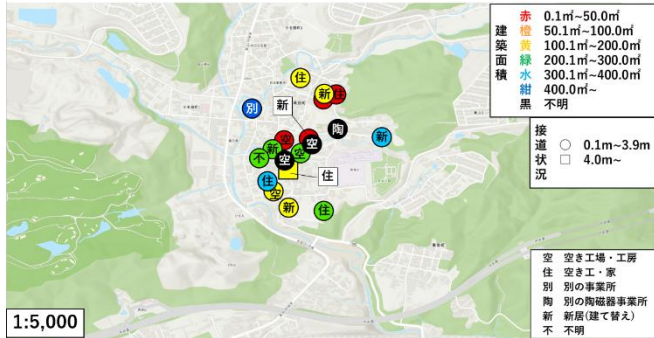


図8 高田町の無くなった事業所の建築面積・接道状況・利用実態

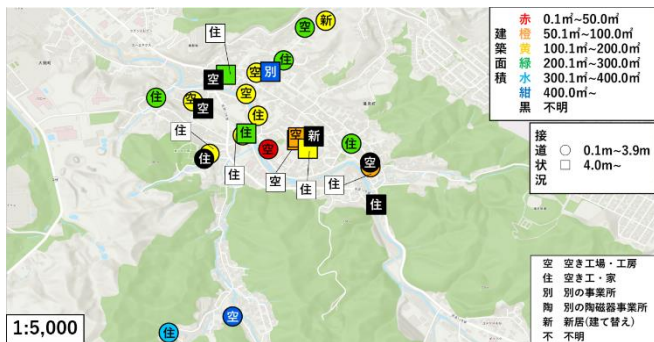


図9 滝呂町の無くなった事業所の建築面積・接道状況・利用実態

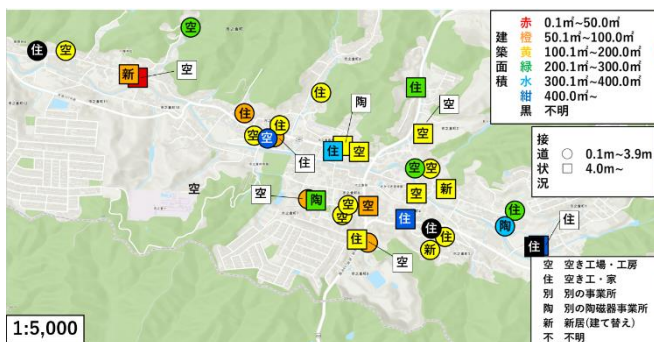


図10 市之倉町の無くなった事業所の建築面積・接道状況・利用実態

4の現地調査及び5-2のデータより、建築面積が200.0㎡以下で4.0m以上の幅員の道路と接道している土地は、そのまま住居として、または新居として利用されている場合が多く、接道する道路の幅員が4.0m未満になると、新たな土地利用をしている土地は一気に少なくなる。セットバックを用いて土地利用をしなければならず、新たに利用されている土地

が少ないのではないかと考える。

5-3 新たな土地利用の可能性

空き工場・工房の状態、現在の建築面積が0.1㎡～200.0㎡、幅員が4.0m以上の道路と接している、住居を建てるにあたって必要であるこの3つの条件を満たしている事業所は、83箇所中7箇所しかない。ほとんどの事業所が幅員4.0m未満の道路に接しており、新たに土地利用をするには厳しい現状であった。しかし、2023年12月13日の空き家法の改正に伴い、幅員が4.0m未満でも安全確保策を前提に建て替えや改築ができるようになった。そのため、以前よりは土地利用がしやすくなった。また、市町村が空き工場・工房の所有者に指針に合った活用方法を要請することもできるようになった。

6. まとめ

新たに土地利用されている事業所は少なく、そのままの状態で放置されたり、工房は住居として利用されたりしていることがわかった。新たに住居を建てたり、別の事業所として利用したりしている土地は、4.0m以上の幅員の道路と接道している場所がほとんどであり、新たな土地利用をするにあたって、接道状況は重要な条件であることがわかった。しかし、空き家法の改正に伴い、以前よりは土地利用がしやすくなった今、多治見市が主となり、政策を行っていくべきだと考える。

参考文献

- 1) 大人の焼き物、美濃焼とは？特徴・種類・窯元・人気作家・歴史のあれこれ
<https://otonayaki.com/blogs/contents/minoyaki>. (参照 2023-12-8).
- 2) ”空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律(令和5年法律第50号)について”,国土交通省,2023-12-13,
https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk3_000138.html. (参照 2024-1-23).
- 3) iタウンページ <https://itp.ne.jp/> (参照 2023年5月20日～26日).
- 4) タウンページ 岐阜県東濃版(2001年発行).
- 5) デイリータウンページ 岐阜県東濃版(2011年11月発行).
- 6) ビジネスタウンページ 岐阜県東濃版(2011年11月発行).